# HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.20

# HP Program Management ユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2013年2月(英語版) ソフトウェアリリース日: 2013年2月(英語版)



ご注意

#### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

#### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許 諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテ ムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使 用許諾が付与されます。

#### 著作権について

© Copyright 1997-2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

#### 商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。

Intel®、Intel® Itanium®、Intel® Xeon®、およびPentium® は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商 標です。

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、およびWindows Vista®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

#### http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

### サポート

次のHPソフトウェアサポートのWebサイトを参照してください。

#### http://support.openview.hp.com/

HP ソフトウェアサポートオンラインでは、対話型の技術支援ツールに効率的にアクセスできます。HP ソフトウェア サポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access\_level.jsp

HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html (英語サイト)

# 目次

第1章	はじめに	9
	HP Program Managementの概要	9
	HP Program Managementの概要	10
	関連ドキュメント	13
第2章	プログラムの作成	15
	プログラムの作成の概要	15
	プログラムの作成	16
第3章	ビジネス目標、問題、リスク、スコープの変更	17
	ビジネス目標の概要	17
	ビジネス目標の作成	17
	ビジネス目標の管理	
	ビジネス目標の変更	19
	ビジネス目標の削除	20
	問題、リスク、プロジェクトスコープの変更の送信	21
	プログラムの問題の送信	22
	プロジェクトの問題の送信	25
	プログラムレベルのリスクの送信	29
	プロジェクトリスクの送信	
	プロジェクトのスコープ変更の送信	34
第4章	プログラムの表示と変更	39
	プログラムの検索、変更、エクスポートの概要	39
	プログラムの検索	40
	検索ボックスの使用	40
	[プログラムの検索]ページの使用	41
	プログラムの変更の概要	44
	プログラムの一般情報の変更	44

	[プログラムの概要] ページへの列の追加	48
	列値を基準としたプログラムのグループ化とグループ解除	48
	プログラムからのライフサイクルエンティティ、ビジネス目標、参照の削除	49
	プログラムの削除	50
	プログラムの設定	50
	HP Financial Management	50
	HP Portfolio Management.	51
	プログラムインジケータの設定	52
	プロジェクトおよびプログラムの問題	52
	プログラムリスク	54
	プログラムのスコープ変更	56
	プログラム設定の変更	58
	プログラムアクセスの設定	63
	プログラムの優先度の更新	66
	プログラム参照の追加	67
	参照としての添付ファイル	67
	参照としての既存パッケージ	68
	参照としての新規パッケージ	69
	参照としてのプロジェクト	70
	参照としての既存リクエスト	72
	参照としての新規リクエスト	73
	参照としてのタスク	74
	参照としての <b>URL</b>	75
	Microsoft Excelへのプログラムのエクスポート	76
笠┎音	プログライの答理	77
あり早		
	HP Program Managementの官理の概要	
	問題の管理	
	プログラムの問題の検索	79
	プロジェクトの問題の検索	81
	問題アクティビティの分析	83
	問題解決時間の分析	85
	リスクの管理	86
	プロジェクトリスクの検索	86
	プログラムリスクの検索	88
	リスクアクティビティの分析	89
	リスク解決時間の分析	
	スコープ変更の管理	91

	スコープ変更の検索	. 91
	スコープ変更アクティビティの分析	. 93
	スコープ変更解決時間の分析	. 95
	プログラムプロセスの管理	. 96
	問題プロセスの管理	. 96
	プロジェクトリスクプロセスの管理	. 97
	プログラムリスクプロセスの管理	. 97
	スコープ変更プロセスの管理	. 98
第6章	[プログラムマネージャ]ページ	. 99
	[プログラムマネージャ]ページの概要	. 99
	PPM Dashboard への [プログラムマネージャ ] ページの追加	101
	[プログラムマネージャ]ページのポートレット	102
	プログラムリストポートレット	102
	プログラムコンテンツリストポートレット	103
	問題リストポートレット	104
	プログラムのスコープ変更リストポートレット	105
	プログラムリスクリストポートレット	106
	プログラムコストサマリポートレット	107
	ポートレットのカスタマイズ	108
索引		109

# 第1章 はじめに

# HP Program Managementの概要

HP Program Management は HP Project and Portfolio Management Center (PPM Center) の一製品であり、これを使用して組織のプログラムおよびライフサイクルエンティティのポートフォリオの起動、運用、管理を一元的に行うことができます。

このマニュアルで使用する「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、資産を指します。また、提案、プロジェクト、資産を組み合わせたものも指します。



これらのタイプのライフサイクルエンティティはそれぞれゼロから作成することができます が、一般的には、提案が承認された時点でプロジェクトになり、プロジェクトが完了した時点 で資産になります。この進行をライフサイクルと呼びます。提案、プロジェクト、資産は、こ のライフサイクルを構成するエンティティです。

HP Program Managementを使用して、次のことが可能です。

- ITプロジェクトとビジネス目標の連係
- 重複作業や優先度の低い作業の排除
- 運用効率の向上
- 納期および予算の遵守

HP Program Managementでは、これらのビジネス要件を満たすため、完全なプ ログラムライフサイクルソリューションを提供します。この製品により、関 連するすべての機能仕様および優先順位を体系的に把握できます。プロジェ クトスコープ、承認済み予算、その他のビジネスルールに基づき、ビジネス ユーザが承認する仕組みが組み込まれています。お客様は、関連する提案、プ ロジェクト、資産、リクエストの表示と管理を1か所で行うことができるよう になります。

## HP Program Managementの概要

プログラムとは、一連の関連するライフサイクルエンティティのまとまりで す。一般的に、ビジネス目標を達成するために作業を調整することを目的と しています。HP Program Managementを使用して、組織の提案、プロジェクト、 資産を概略的に把握するプログラムを作成できます。



プログラムの作成方法については、第2章「プログラムの作成」(15ページ)を参照してくださ い。プログラムを表示し、プログラムの優先度、一般情報、ヘルスインジケータ、セキュリティを 更新する方法については、第4章「プログラムの表示と変更」(39ページ)を参照してください。

ライフサイクルエンティティをまとめて1つのプログラムにする理由はさま ざまです。プログラムを作成することで、1つのビジネス目標を達成するため の一連のプロジェクトを管理できます。たとえば、1つの成果物を中心として プログラムを設計することもあれば(インフラストラクチャ、連携開発、その 他の成果物が必要なプロジェクト)、特定のクライアントのための作業を中心 としてプログラムを設計することもあります。

ライフサイクルエンティティをどのようにプログラムにまとめるかは、組織 内部での管理方法によって異なります。各プログラムには1人以上のオーナー (プログラムマネージャ)がおり、このオーナーがライフサイクルエンティ ティ全体の調整、個々のプロジェクトで解決できない問題の解決、全体の予 算管理などを担当します。

ビジネス目標は異なるが、何か共通点がある一連のライフサイクルエンティ ティを可視化するためにプログラムを設計する場合もあります。たとえば、あ る部署がオーナーとなっているすべてのプロジェクトをまとめて把握するた めのプログラムを作成できます(個々のプロジェクトが属しているプログラ ムがその他の関係を持たないことは問いません)。

HP Program Managementにより、プログラムの有効期間中に発生するさまざま なリスク、問題、変更を評価し、これらのイベントを管理するために必要な 変更を加えることができます。

ビジネス目標を設定してプログラムと関連付ける方法について、またリクエストを使ってプロ グラムの有効期間中に発生する懸案事項に対応する方法については、第3章「ビジネス目標、 問題、リスク、スコープの変更」(17ページ)を参照してください。プログラムの管理方法につ いては、第5章「プログラムの管理」(77ページ)を参照してください。 HP Program Managementにより、次のことが可能になります。

- 関連するITプロジェクトの監督
- プロジェクト間の成果物およびマイルストーンの調整
- スコープの変更管理
- リスクの識別と緩和
- プロジェクト間の問題の解決

HP Program Management インタフェースにアクセスするには、PPM Dashboard およびメニューバーを使用します。PPM Dashboard に表示されるポートレット をカスタマイズすることで、特定のビジネス要件を満たすことができます。



PPM Dashboard ページで表示できる HP Program Management ポートレットの詳細については、第6章「[プログラムマネージャ]ページ」(99ページ)を参照してください。

標準インタフェースの一番上にはメニューバーがあります。これは階層的に 編成されたタスクメニューで構成されています。HP Program Managementのほ とんどの作業は、[**開く**] > [Program Management] メニューの項目から実行で きます。ただし、このマニュアルで取り上げる一部のタスクを実行するには、 [Project Management] および [管理] のサブメニューを使用します。図 1-1に、 メニューバーと PPM Dashboard を示します。

ダッシュボード 🗸 🐘 🖌 検索 🖌 作	2	レニューまたはエンティティの検索							
ダッシュボード - Program Manager					_				
Program Manager			Ω Utz⊽F t	C イクルエ	را ار	} ⊀−⊦	+ 助	a 13-	(人) (ソナライン)
プログラムリスト								0	2 🗖
プログラム名	相讨的優先度	プログラムマネージャ	プログラムのステータ	く問題		リスク	ל	スコー	- プ変更
Black Diamond Initiative		Carolyn Sayer	活动	<u> </u>	7	۸	14	<u> </u>	12
Enterprise Business Applications	3	Carolyn Sayer	新	0	0		0		0
Partner Program	2	Carolyn Sayer	活动	0	11	۵.	12	0	3
One World	1	Carolyn Sayer	活动	0	10	۵.	15		12
■ ExcellCエクスポート		( 4/4 を表	π <mark>&gt; &gt;</mark>						
問題リスト								0	2 🗖
 このボートレットのブリファレンスを編集してください。									
プログラムのスコープ変更リスト								0	2 🔳
このボートレットのブリファレンスを編集してください。									
<del>プ</del> ログラムリスクリスト								© 1	2 🔳
このボートレットのブリファレンスを編集してください。									

### 図 1-1. メニューバーと PPM Dashboard

# 関連ドキュメント

このマニュアルに加え、次の関連ドキュメントを参照することをお勧めします。

- [HP Program Management Configuration Guide]
- 『HP Project Management ユーザーガイド』
- 『HP Demand Management ユーザーガイド』
- 『HP Financial Management ユーザーガイド』
- 『HPエンティティガイド』(HP Program Managementのすべてのポートレット、リクエストタイプ、およびワークフローの説明があります)

HP Program Management の多くの制御は、『A Guide to the Project Management Body of Knowledge』(プロジェクトマネジメント協会が発行しているPMBOKガイド)に基づいてモデル化されています。これらのプログラム制御には、問題、リスク、スコープの変更が含まれています。



# 第2章 プログラムの作成

# プログラムの作成の概要

プログラムとは、プロジェクトと、関連するスコープの変更、リスク、問題 の集まりです。プログラムにより、プロジェクト全体をドリルダウンしたり、 関連データをロールアップしたりすることができます。また、プロジェクト と同様に、プログラムにもヘルスインジケータと設定可能な例外インジケー タがあります。本章では、PPM Centerでプログラムを作成する方法について 説明します。

たとえば、XYZ社では、マネージャが営業部門との統合を強化するために、 カスタマサービス用コンピュータシステムのアップグレードを監督するプロ グラムを作成しています。カスタマサービス、営業、ITの各マネージャは、プ ロジェクトを作成します。各リソースが自分の作業を行う中、プログラムを 通じて作業をリンクし、監視します。同時に、プログラムに対して送信され たリスクおよびスコープの変更のトラッキングと管理も行います。

# プログラムの作成

プログラムを作成するには、HP Program Managementのライセンスのほか、[プ ログラムの編集]および[プログラムの作成]のアクセス許可、または[すべて のプログラムの編集]のアクセス許可が必要です。アクセス許可の詳細につい ては、『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

プログラムを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[作成]>[プログラム]を選択します。

[新規プログラムの作成]ページが開きます。

新規プログラ	らんの作成
--------	-------

作成キャンセル

- 3. [プログラム名] フィールドに、プログラムの名前を入力します。
- (オプション)[プログラムマネージャ]フィールドで、プログラムマネージャ として任命するリソースを1人以上指定します。デフォルトでは、この フィールドには現在のユーザが表示されます。



プログラムにカスタムユーザフィールドを追加した場合、[新規プログラムの作成]ページ にこのフィールドが表示されます。

5. [作成] をクリックします。

プログラムが作成され、[プログラムの概要]ページが開きます。

# 第3章 ビジネス目標、問題、リスク、 スコープの変更

## ビジネス目標の概要

ビジネス目標により、ビジネス上の目標を、優先順位の決定とPPM Centerの ほかのエンティティ (プログラムなど)との連係が可能な個別のエンティティ として把握できます。たとえば、XYZ社は「納期に向けて注文を減らす」と いうビジネス目標を作成し、優先度をアサインし、カスタマサービス用シス テムをアップグレードするために作成したプログラムと関連付けています。 ビジネス目標の作成は、HP Portfolio Management でもHP Program Management でも可能です。

プログラムを既存の目標と関連付けることもできます。プログラムをまだ存 在しないビジネス目標と関連付けるには、プログラムの作成前にビジネス目 標を作成するか、プログラムの作成後にビジネス目標を作成して関連付けま す。本項では、HP Program Managementからビジネス目標を作成するステップ について説明します。

### ビジネス目標の作成

ビジネス目標を作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。

### 2. メニューバーから、[作成]>[管理]>[ビジネス目標]を選択します。

[新規ビジネス目標の作成]ページが開きます。

1			
進行中			
8			
	~		
	$\bigcirc$		

3. 追加するビジネス目標の情報を入力します。

フィールド 名	説明
名前	ビジネス目標の名前。
ステータス	ビジネス目標のステータス。 • [進行中]: ビジネス目標は未達成です。 • [達成済み]: ビジネス目標は達成済みです。 • [キャンセル済み]: ビジネス目標はキャンセル済みです。
オーナー	このビジネス目標を担当するプログラムマネージャ。
優先度	ビジネス目標のランク付けをするために使用する、ゼロ以外の正の 整数。複数のビジネス目標が同じ優先度を持つことができます。
説明	ビジネス目標の説明。

4. [作成] をクリックします。

[ビジネス目標の管理]ページに、新しい目標が表示されます。



PPM Centerインスタンスで複数の言語がサポートされている場合、作成するビジネス目標はログオン時に選択した言語(セッション言語)で定義されます。ビジネス目標の作成後、そのビジネス目標は定義言語でのみ変更できます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

### ビジネス目標の管理

本項では、ビジネス目標の編集および削除方法について説明します。

#### ビジネス目標の変更

ビジネス目標は時間の経過とともに変化することがあるため、詳細を追加したり古い情報を削除したりして更新します。



PPM Center インスタンスで複数の言語がサポートされており、ビジネス目標がセッション言 語以外の言語で定義されている場合、ビジネス目標を変更することはできません。詳細につい ては、ヘッダの [理由] をクリックするか、『Multilingual User Interface Guide』を参照してく ださい。

ビジネス目標を変更するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[管理]>[ビジネス目標]を選択します。

[ビジネス目標の管理]ページが開き、既存の目標がリストされます。

名前	ステータス	オーナー	袋先度	證明
10% Increase in Revenue	進行中			
15% Growth in Partner Channels	進行中			
9 Month Release Cycle	進行中			
Attack developing markets	進行中			
Be low cost supplier	進行中			Be the lowest cost supplier to our customers
Consolidate redundant appliations	進行中			Identify and migrate the work of the poorer performing applications to other
M Cost Containment	進行中			
Increase global market penetration	進行中			Increase market penetration in emerging markets specifically in Asia
Reduce Customer Churn	進行中			
Reduce IT costs by 20%	進行中			Reduce IT total operating costs by 20% for FY2011
Regulatory Compliance	進行中			
Retire underutilized applications	進行中			Identity and eliminate the applications we no longer nee- because the user ba

3. [名前] カラムで、変更するビジネス目標の名前をクリックします。

[ビジネス目標の変更]ページが開きます。

ごジネス目柱	標の変更: Be low cost supplier				
*名前:	Be low cost supplier				
ステータス:	進行中				
オーナー:	<u></u>				
優先度:					
說明:					
Be the lowest	cost supplier to our customers	$\hat{}$			
					ጋ ሎቱ የወታ ሃፖ
				\$7	キャンセル

4. 必要に応じてフィールドの値を変更し、[完了]をクリックします。

### ビジネス目標の削除

ビジネス目標が古くなった場合、削除できます。

ビジネス目標を削除するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[管理]>[ビジネス目標]を選択します。

[ビジネス目標の管理]ページが開き、既存の目標がリストされます。

	名前	ステータス	オーナー	優先度	說明
×	10% Increase in Revenue	進行中			
×	15% Growth in Partner Channels	進行中			
×	9 Month Release Cycle	進行中			
×	Attack developing markets	進行中			
×	Be low cost supplier	進行中			Be the lowest cost supplier to our customers
×	Consolidate redundant appliations	進行中			Identify and migrate the work of the poorer performing applications to other
X	Cost Containment	進行中			
X	Increase global market penetration	進行中			Increase market penetration in emerging markets specifically in Asia
×	Reduce Customer Churn	進行中			
×	Reduce IT costs by 20%	進行中			Reduce IT total operating costs by 20% for FY2011
×	Regulatory Compliance	進行中			
×	Retire underutilized applications	進行中			Identify and eliminate the applications we no longer ne because the user ba

3. 古い目標の左側にある [削除] アイコンをクリックします。

HP Program Managementから、目標の削除の確認を求められます。4. [OK] をクリックします。ビジネス目標が削除されます。

# 問題、リスク、プロジェクトスコープの変更の送信

プログラムの有効期間中には、対応が必要な懸案事項が発生します。PPM Centerのフレームワークでは、リクエストを使用して、このような懸案事項を 特定および解決します。リクエストは、送信(作成)、トラッキング、却下、 完了、レポートが可能です。

プログラムには、次のリクエストが影響します。

- プログラムの問題: プログラムそのものの実行に関する問題を管理するには、プログラムの問題を送信します。たとえば、プログラムにマネージャやサポートスタッフをうまくアサインできない場合、または企業の方向性が変わったためにプログラムの目標の再評価が必要な場合は、プログラムの問題を送信します。プログラムにリンクされているプロジェクトについて記録された問題をプロジェクトマネージャが解決できない場合、その問題をプログラムレベルで可視化する必要があります。多くの場合、プログラムの問題を解決するには、複数のプロジェクト間での連携が必要です。
- プロジェクトの問題: プロジェクトの問題により、プロジェクト関連のすべての問題を特定および解決するフレームワークが提供されます。解決プロセスを詳細に示すため、問題が複数のリクエストタイプにまたがっていることもあります。

たとえば、バグや機能拡張はいずれも問題であり、トラッキングにおいて は共通するフィールドもありますが、各リクエストタイプはそれぞれにア サインされたワークフローに沿って処理されます。

プログラムのリスク: プログラムそのものの実行に関する脅威を管理するには、プログラムリスクを送信します。プログラムのヘルスインジケータを設定し、さまざまなレベルのリスクについてユーザに警告できます。[プログラムの概要]ページには、プログラムリスクと、プログラムに含まれるプロジェクトのプロジェクトリスクの両方が表示されます。

 プロジェクトのリスク: リスクにより、プロジェクトに対する脅威を記録 および解決できます。起こり得るリスクに関する情報(インパクト、発生 の確率など)を収集するプロセスは合理化されています。プログラムのヘ ルスインジケータを設定し、さまざまなレベルのリスクについてユーザに 警告できます。

たとえば、XYZ社のプログラムマネージャは、カスタマサービスのアップ グレードプログラムで、インパクトレベル1、発生の確率が[高]のリスク が2個を超えて作成された場合に赤のインジケータが表示されるように設 定しています。

 プロジェクトのスコープ変更:スコープの変更により、プログラムおよび 個々のプロジェクトのスコープを管理できる状態を維持できます。送信し たスコープ変更リクエストは評価された後、却下されるか、プログラムま たはプロジェクトのスコープに組み込まれます。プログラムおよびプロ ジェクトのスコープを制御するには、起こり得る変更を明確に特定、調 整、処理する必要があります。

### プログラムの問題の送信

プログラムの有効期間中に、問題が発生したり、ビジネス上の意思決定が行われてプログラムの問題を追加する必要が生じたりすることがあります。このような変更の特定、処理、意思決定には、[問題]を使用します。これらの問題を特定し、重要情報(インパクトレベル、発生の確率)を収集し、迅速に処理するために、Program Managementの[問題]リクエストタイプを使用します。

プログラムの問題を送信するには、次の手順を実行します。

プログラムの問題を送信するには、プログラムの問題を作成できる、[プログラムの問題]リク エストタイプの参加者として指定されている必要があります。これは、リクエストWorkbench の[リクエストタイプ]ウィンドウで設定します。

1. PPM Center にログオンします。

2. メニューバーから、[作成]>[プログラムの問題]を選択します。



必要な権限がある場合、HP Demand Management でプログラムの問題を送信することもできます。

[新規プログラムの問題の作成]ページが開きます。

新規ブログラムの問題の作成	
ALL A REAL AND A REAL	

		道  〇   送信 キャンセル
す・	べて展開する」すべて折りたむ	
-	- サマリ	
	間週ステータス:	
	未送信	
	作成者:	
	Admin User	
	1908B:	
	PRRT - 1//-	
	*特定日: 期日:	
	P9965 / -1.	
	, 影关和FV2115亿月;	
		~
		$\sim$
	「「「「「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「	
		~
		~
	ビジネス機能:	
		~
		$\sim$
	* Xt	
	- メモの追加	
	保存時に追加されるメモン	
	~	
-	▶ 泰照	

3. すべての必須フィールド ([プログラム]、[優先度]、[説明]、[特定日]) と、こ の問題に関連付けるオプション情報を入力します。

フィールド名	説明			
[サマリ] セクション:				
プログラム	問題に関連付けられているプログラム。			
優先度	問題の優先度。HP Program Managementでは、問 題はアサインされている優先度の値によってグ ループ化されます。[ <b>優先度</b> ] フィールドに入力し た値は、プログラムのヘルスの計算に使用され ます。			
アサイン先	この問題がアサインされているリソース。			
説明 問題の説明です。				
[問題の詳細] セクション:				
特定日	問題が認識された暦日。			
期日	問題解決の期限。			
問題タイプ	発生中の問題のタイプ。			
詳細な説明	問題の詳細な説明。			
提案された解決	問題に対して提案されている解決策。			
ビジネス機能	この問題による影響を受けるビジネス機能。			
保存時に追加されるメモ プログラムの問題について記録される追加情報				
[参照] セクション:[参照の追加]				
新規参照	プログラムに追加される参照。詳細については、 「プログラム参照の追加」(67ページ) を参照してく			

ださい。

4. [送信]をクリックします。

送信したプログラムの問題リクエストが、アサインされたワークフローに 自動的に沿って、解決に向けて進められます。

### プロジェクトの問題の送信

プロジェクトの有効期間中に発生した障害やビジネス課題を管理するには、[プ ロジェクトの問題] リクエストタイプを使用します。プロジェクトの問題で、 これらの課題を特定し、重要情報 (インパクトレベル、発生の確率)を収集し、 迅速に処理します。

プロジェクトの問題を送信するには、次の手順を実行します。

プロジェクトの問題を送信するには、プロジェクトの問題を作成できる、[プロジェクトの問題] リクエストタイプの参加者として指定されている必要があります。これは、リクエスト Workbenchの[リクエストタイプ]ウィンドウで設定します。

1. PPM Center にログオンします。

2. メニューバーから、[作成]>[プロジェクトの問題]を選択します。

[新規プロジェクトの問題の作成]ページが開きます。

				[♪] 送信 キャ3
て展開する」すべて折りたたむ				
サマリ				
問題ステータス:				
未送信				
作成者:		ፖታብン先:		
Admin User			â 🖸	
*プロジェクト:				
*優先度:		*エスカレーション レベル:		
	~	プロジェクト	<b>v</b>	
*説明:				
問題の詳細 *特定日:		期日:		
問題の詳細 *特定日:    		·····································		P
問題の 詳細 *特定日: 同語(タイプ: 「 学祥編ズ2198日:		ула : @		@
問題の詳細 *特定日: 「ご覧タイプ: 「 詳報な説明:		ЯЛСІ: 18 <sup>9</sup>		@
問題の手種 特定日: 「問題タイプ: 「 詳細な説明:		901 : 12 V		@
問題の詳細 特定日: 				@ 
問題の詳細 *特定日: 		9)   :  2  2		
問題の詳細 *特定日: 				
問題の 詳細 特定日: 				
問題の 詳細 特定日: 				
2000年94日   1000年94日   1000年1月   1000年1  1000年1  1000年1  1000年1  10005555555555				

3. すべての必須フィールド ([プロジェクト]、[優先度]、[エスカレーションレベ ル]、[説明]、[特定日])と、この問題に関連付けるオプション情報を入力し ます。

HP Program Management にプロジェクトの問題を表示するには、プロジェクトをプログ ラムに追加(またはプログラムをプロジェクトの問題に参照として追加)し、[プロジェク トの問題]の詳細ページの [サマリ] セクションで [エスカレーションレベル]に [プロ グラム]を選択します。

フィールド名	説明			
[サマリ] セクション:				
アサイン先	この問題がアサインされているリソース。			
プロジェクト	問題に関連付けられているプロジェクト。			
優先度	問題の優先度。 このフィールドの値はプロジェクトの問題ヘルス に関連付けられています ([ <b>問題ヘルス</b> ] ポリシー で設定)。詳細については、『HP Project Managementユーザーガイド』の「プロジェクト タイプの設定」の章を参照してください。			
エスカレーションレベル	問題のエスカレーションレベル。取り得る値は [プ ロジェクト] または [プログラム] です。プロジェ クトに関連付けられているプログラムがある場 合、エスカレーションレベルを [プログラム] に 設定することで、プログラムレベルで問題を可視 化できます。プログラムを使用していない場合、こ のフィールドは非表示になっていることがあり ます。			
説明	問題の説明。			
[問題の詳細] セクション:				
特定日	問題が認識された暦日。			
期日	問題解決の期限。			
問題タイプ	発生中の問題のタイプ。			
詳細な説明	問題の詳細な説明。			

ビジネス目標、問題、リスク、スコープの変更

フィールド名	説明			
提案された解決	問題に対して提案されている解決策。			
ビジネス機能	この問題による影響を受けるビジネス機能。			
[メモ] セクション: メモの追加				
保存時に追加されるメモ	プロジェクトの問題について記録される追加情報			
[参照] セクション:[参照の追加]				
新規参照	プロジェクトに追加される参照。詳細については 手順 4を参照してください。			

- 4. プログラムをプロジェクトの問題に参照として追加するには、次の手順を 実行します。
  - a. [新規プロジェクトの問題の作成] ページで、[参照] セクションを展開 します。
  - b. [新規参照] リストで、[プログラム] を選択します。
  - c. [追加] をクリックします。

[参照プログラム] ウィンドウが開きます。

- d. [**プログラム**] フィールドで、問題に参照として追加するプログラムを 選択します。
- e. [追加] をクリックします。

[新規プロジェクトの問題の作成]ページの下部で、[保存時に追加される参照]フィールドに選択したプログラムの名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプロジェクトの問題リクエストが、アサインされたワークフロー に沿って、解決に向けて進められます。

### プログラムレベルのリスクの送信

プログラムが進行すると、そのプログラムにリンクされているリスクが大き くなることがあります。これらのリスクを特定し、重要情報(インパクトレベ ル、発生の確率)を収集し、迅速に処理するために、[プログラムリスク]リク エストタイプを使用します。



プログラムのリスクリクエストタイプは、[ベストプラクティス] コンテンツの一部です。この コンテンツを使用するには、ベストプラクティスをインストール/再インストールする必要があ ります。

プログラムリスクを送信するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。

新規ブログラムリスクの作成

2. メニューバーから、[作成]>[プログラムリスク]を選択します。

[新規プログラムリスクの作成]ページが開きます。

				【♪ ● 送信 キャンセ
べて展開する」すべて折りたたむ				
<b>-</b> サマリ				
<b>作成者:</b> Admin User				
部署:	サブタイプ:			
×				
•ワークフロー:			リクエスト ステータス:	
プログラムリスク管理プロセス		:=	未送信	
優先度:	アプリケーション:		連絡先名:	
V				
アサイン先:	アサイン先グルーブ:		連絡先電話番号:	
<u> </u>				
リクエスト グループ:			連絡先電子メール:	
		:=		
*"说明:				
- ブログラム参照				
<u>эну ж</u> .				=
- プログラム リスク				
43クイバクトレベル:				
*確率:				
				V
+ Xt				
44.977				

3. すべての必須フィールド([ワークフロー]、[説明]、[プログラム]、[リスクイ ンパクトレベル]、[確率])と、このリスクに関連付けるオプション情報を入 力します。



[**ワークフロー**]フィールドの情報は自動的に入力されます。

フィールド名	説明			
[サマリ] セクション:				
作成者	読み取り専用。リスクを作成したリソース。			
部署	このリスクが該当する部署。			
サブタイプ	リスクの詳細な分類。			
ワークフロー	必須フィールド。リクエストが従う必要のあるパ スを定義するプロセスをアサインします。			
リクエストステータス	読み取り専用。リスクの現在のステータスのイン ジケータ。			
優先度	リスクの優先度。			
アプリケーション	このリスクが該当するアプリケーション。			
連絡先名	このリスクの連絡先の氏名。			
アサイン先	このリスクがアサインされているリソース。			
アサイン先グループ	このリスクがアサインされているセキュリティグ ループ。			
連絡先電話番号	読み取り専用。このリスクの連絡先の電話番号。			
リクエストグループ	リスクで使用されるリクエストグループ。			
連絡先電子メール	読み取り専用。このリスクの連絡先の電子メール アドレス。			
説明	リスクの説明。			
[プログラム参照] セクション:				
プログラム	必須フィールド。リスクに関連付けられているプ ログラム。			
[プログラムリスク] セクション:				

フィールド名	説明
リスクインパクトレベル	必須フィールド。リスクの重要度を示す値を選択 します。リスクインパクトレベルは、リスクアク ティビティの分析とリスク解決時間の計算に使用 されます。詳細については、「リスクアクティビ ティの分析」(89ページ)および「リスク解決時間 の分析」(90ページ)を参照してください。
確率	必須フィールド。リスク発生の予想される可能性 を示す値を入力します。

[メモ] セクション: メモの追加

[参照] セクション:[参照の追加]

新規参照	プログラムリスクに追加される参照。 ては、手順 4を参照してください。	詳細につい
------	--	-------

4. リスクに参照を追加するには、次の手順を実行します。

- a. [参照] セクションを展開します。
- b. [新規参照] リストで、追加する参照を選択します。
- **c**. [追加] をクリックします。
- d. 参照を追加します。
- e. [OK] をクリックします。
- f. [参照プログラム] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

[新規プログラムリスクの作成]ページの下部で、[保存時に追加される参照] フィールドに選択した参照の名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプログラムリスクが、ワークフローに沿って解決に向けて進めら れます。

### プロジェクトリスクの送信

プログラムが進行すると、そのプログラムにリンクされているプロジェクトの リスクが大きくなることがあります。これらのリスクを特定し、重要情報(イ ンパクトレベル、発生の確率)を収集し、迅速に処理するために、[プロジェ クトリスク]リクエストタイプを使用します。

プロジェクトリスクを送信するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[作成]>[プロジェクトリスク]を選択します。

[新規プロジェクトリスクの作成]ページが開きます。

新田ゴロジークレリフクの作	ct?
和規フロンエクトリスクのTF	PX

				<ul> <li>         送信 キャンセル     </li> </ul>	いしてい 「「「」」 ドラフトの保存
すべて展開する」すべて折りたたむ					
- サマリ					
リスク ステータス: 未送信 作成者: Admin User プロフェクト:	ፖサイン <del>先</del> :	<b>\$</b> 0			
優先度:  支明:	ህスク インパクト レベル:		*可能性:		Y
- リスクの詳細					
リスク <i>タイナ</i> : 	V	特定日:			∎® ^
クローズ基準:					•
アクション計画:					$\sim$
- ×ŧ					
<ul> <li>ノモの追加</li> <li>(常祥特に追加されるッモ:</li> </ul>	Ç				
+ 参照					

3. すべての必須フィールド([プロジェクト]、[リスクインパクトレベル]、[確率]、 [説明]、[特定日])と、このリスクに関連付けるオプション情報を入力します。



HP Program Management でプロジェクトリスクを表示するには、プログラムに関連付け られているプロジェクト、またはプログラムそのものを、プロジェクトリスクに参照とし て追加する必要があります。

フィールド名	説明		
[サマリ] セクション:			
アサイン先	このリスクがアサインされているリソース。		
プロジェクト	リスクに関連付けられているプロジェクト。		
優先度	リスクの優先度。		
リスクインパクトレベル	リスクの重要度を示す値を選択します。リスクイ ンパクトレベルは、リスクアクティビティの分析 とリスク解決時間の計算に使用されます。詳細に ついては、「リスクアクティビティの分析」(89ペー ジ)および「リスク解決時間の分析」(90ページ)を 参照してください。		
	リスク発生の予想される可能性を示す値を入力し ます。		
説明	リスクの説明。		
[リスクの詳細] セクション:			
リスクタイプ	発生中のリスクのタイプを選択します。		
	リュクが認識された庭口 リュクの作成ロけ リ		

リスクタイプ	発生中のリスクのタイプを選択します。
特定日	リスクが認識された暦日。リスクの作成日は、リ スクの解決時間の計算に使用されます。詳細につ いては、「リスク解決時間の分析」(90ページ)を参 照してください。
詳細な説明	リスクの詳細な説明。
クローズ基準	リスクを正常にクローズするための基準。
アクション計画	リスクを処理するために提案されているアクショ ンの計画。

フィールド名	説明	
[メモ] セクション: メモの追加		
保存時に追加されるメモ	プロジェクトリスクについて記録される追加情報	
[参照] セクション:[参照の追加]		
新規参照	プロジェクトに追加される参照。詳細については、 手順 4を参照してください。	

- 4. プログラムをプロジェクトリスクに参照として追加するには、次の手順を 実行します。
  - a. [参照] セクションを展開します。
  - b. [新規参照] リストで、[プログラム] を選択します。
  - c. [追加] をクリックします。

[参照プログラム] ウィンドウが開きます。

- d. [**プログラム**] フィールドで、プロジェクトリスクを参照として追加す るプログラムを選択します。
- e. [OK] をクリックします。
- f. [参照プログラム] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

[新規プロジェクトリスクの作成]ページの下部で、[保存時に追加される参照]フィールドに選択したプログラムの名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプロジェクトリスクが、ワークフローに沿って解決に向けて進め られます。

### プロジェクトのスコープ変更の送信

プログラムの有効期間中にイベントが発生した場合、プログラムのスコープ を変更する必要があります。このような変更の特定、処理、実行には、Program Managementの[スコープ変更]リクエストタイプを使用します。 プロジェクトのスコープ変更を送信するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[作成]>[プロジェクトのスコープ変更]を選択します。
   [新規プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成]ページが開きます。

新規プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成				
				<ul> <li>         ど信 キャンセル     </li> </ul>
すべて展開する」すべて折りたたむ				
- サマリ				
スコープ変更ステータス:				
未送信				
作成者:	アサイン先:			
Admin User		<u>a</u>		
•ታロジェクト:				
(西)(注)(醉·	CR Locale		デジネフィイ バクトの重更度	
		~		
*說明:				
- フコーブ亦更の詳細				
アサイン光リリース:		実装日 慌日:		n©
■ ¥★冊な # 98月:				
				~
				$\checkmark$
提案された変更のベネコイット・				
				~
<del>代</del> 基·				
				~
				$\square$
<b>クリジュ セベルス ポロ物のロフト</b>				
120191 9 49:				
				0
				·
別接上のインパクト:		スリシュール上のインパクト	(日報):	
		L		
+				
▲ 恭昭				

3. すべての必須フィールド ([プロジェクト]、[CR レベル]、[ビジネスインパクトの重要度]、[説明]) と、このスコープ変更に関するオプション情報を入力します。

HP Program Management でスコープ変更リクエストを表示するには、プログラムに関連 付けられているプロジェクト、またはプログラムそのものを、スコープ変更リクエストに 参照として追加する必要があります。

フィールド名	説明
[サマリ] セクション:	
アサイン先	このスコープ変更がアサインされているリソース。
プロジェクト	スコープ変更に関連付けられているプロジェクト。
優先度	スコープ変更の優先度。
CRレベル	スコープ変更のインパクトまたは重要度を示す値 を選択します。[レベル1]は [レベル2]より、ま た [レベル2]は [レベル3]より大規模なスコープ 変更リクエストであることを示します。HP Program Managementでは、[レベル1]または [レ ベル2] がアサインされているスコープ変更リク エストのみが表示されます。
ビジネスインパクトの重要度	スコープ変更がビジネスに及ぼす影響の重大度。
説明	スコープ変更の説明。

### [スコープ変更の詳細] セクション:

アサイン先リリース	このスコープ変更がアサインされているリリース。
実装目標日	スコープ変更を実装する期限。
詳細な説明	スコープ変更の詳細な説明。
提案された変更の ベネフィット	提案されたスコープ変更によって得られるベネ フィット。
フィールド名	説明
-----------------------	---
代替	スコープ変更に対して存在する代替案。
インパクトを受ける成果物の リスト	スコープ変更による影響を受ける成果物のリスト。
インパクトサマリ	スコープ変更によって受けるインパクトのサマリ。
財務上のインパクト	スコープ変更のインパクトの金額。
スケジュール上のインパクト (日数)	スコープ変更によって影響を受けるスケジュール 上の日数。
[メモ] セクション: メモの	自加
保存時に追加されるメモ	スコープ変更について記録される追加情報
[参照] セクション:[参照のう	追加]
新規参照	プロジェクトに追加される参照。詳細については、 手順 4を参照してください。

•

- 4. プログラムをスコープ変更リクエストに参照として追加するには、次の手 順を実行します。
  - a. [参照] セクションを展開します。
  - b. [新規参照] リストで、[プログラム] を選択します。
  - c. [追加] をクリックします。

[参照プログラム] ウィンドウが開きます。

- d. [プログラム] フィールドで、スコープ変更を参照として追加するプロ グラムを選択します。
- e. [OK] をクリックします。
- f. [参照プログラム] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

[新規プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成]ページの下部で、[保存時に追加される参照]フィールドに選択したプログラムの名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプロジェクトのスコープ変更リクエストが、ワークフローに沿って 解決に向けて進められます。

# 第4章 プログラムの表示と変更

# プログラムの検索、変更、エクスポートの概要

本章では、次の項目について説明します。

「プログラムの検索」

検索ボックスまたは[プログラムの検索]ページを使って、プログラムを 検索します。

「プログラムの一般情報の変更」

[プログラムの概要]ページを表示します。このページから、プログラムの 統合ビューを一元的に表示できます。また、プログラムに関連付けられて いるエンティティにも一元的にナビゲートできます。

「プログラムの設定」

HP Financial Management と HP Portfolio Management を有効化し、プログラ ムインジケータを設定します。

「プログラムアクセスの設定」

機密情報やユーザによっては無用な情報へのアクセスを制御します。

• 「プログラムの優先度の更新」

利害関係者に対する可視性を維持するため、プログラムの優先度を調整し ます。 • 「プログラム参照の追加」

さまざまなタイプの情報を参照としてプログラムに追加します。

• 「Microsoft Excelへのプログラムのエクスポート」

[プログラムの概要]ページのすべての情報をMicrosoft Excel スプレッド シートにエクスポートします。

# プログラムの検索

プログラムの検索には、2つの方法があります。

- 検索ボックス: プログラムの名前がわかっている場合や、特定の言葉やテキストが名前の先頭や途中に含まれている1つ以上のプログラムを検索する場合に使用します。検索ボックスは右上隅にあります。
- プログラムの検索ページ:プログラムマネージャ、プログラムのステータス、含まれているプロジェクト、作成者、ビジネス目標、優先度、作成日などの基準に基づいてプログラムを検索するには、[プログラムの検索]ページを使用します。

## 検索ボックスの使用

検索ボックスを使って、特定のテキストで始まるプログラム名に基づき、プログラムを検索して開くことができます。

検索ボックスを使ってプログラムを検索し、開くには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーの右側にある検索ボックスに、「@」に続けて検索するプロ グラム名の先頭のテキストを入力します。テキストの入力を開始すると、 サブメニューが表示されます(検索では、大文字と小文字は区別されま せん)。

3. 検索テキストの入力が終わったら、[プログラムの検索:<検索テキスト>]を 選択します。

検索テキストが一致するプログラム名が1つのみの場合、そのプログラムの[プログラムの概要]ページが表示されます。

検索テキストに一致するプログラム名が複数ある場合は、[プログラムの 検索]ページが開き、一致する名前を持つプログラムのリストが表示され ます。プログラムの名前をクリックすると、[プログラムの概要]ページが 開きます。

## [プログラムの検索]ページの使用

[プログラムの検索]ページを使って既存のプログラムを検索し、表示するに は、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[プログラム]を選択します。
- 3. [プログラムの検索] ページで検索基準を入力して、[検索] をクリックしま す。または、すべてのプログラムのリストを表示するには、検索基準を入 力せずに [検索] をクリックします。

フィールド名	説明
プログラム名 (前方一致)	文字列を指定します。検索結果には、指定し た文字列が名前の先頭にあるすべてのプロ グラムが表示されます。
プログラムマネージャ	1 人以上のユーザを指定または入力します。 検索結果には、指定したユーザに管理されて いるすべてのプログラムが表示されます。
プログラムのステータス	1つ以上のプログラムのステータス値を指定 または入力します。検索結果には、指定した ステータスに一致するすべてのプログラム が表示されます。
<b>含む</b>	プログラムに関連付けられている1つ以上の ライフサイクルエンティティ(提案、プロ ジェクト、資産)を指定または選択します。 検索結果には、指定したライフサイクルエン ティティを少なくとも1つ含む、すべてのプ ログラムが表示されます。

フィールド名	説明
作成者	1人以上のユーザを指定または入力します。 検索結果には、指定したユーザによって作成 されたすべてのプログラムが表示されます。
ビジネス目標	1つ以上のビジネス目標を指定または入力し ます。検索結果には、指定したビジネス目標 を持つすべてのプログラムが表示されます。
Portfolio Managementが有効に なっているプログラムのみ表示	HP Portfolio Management が有効になってい るプログラムを検索するには、[ <b>はい</b> ] を選択 します。すべてのプログラムを検索するに は、[ <b>いいえ</b> ] を選択します。
相対的優先度が次の値から / 次の 値まで	優先度レベルの範囲を指定します。検索結果 には、指定した優先度レベルの範囲内のプロ グラムが表示されます。
作成日が次の日から / 次の日まで	日付範囲を指定または入力します。検索結果 には、指定した日付範囲内に作成されたすべ てのプログラムが表示されます。
ソート基準	検索基準に一致するプログラムのソートの 基準にするフィールドを選択します。
	ソートの順序を指定します。
1ページ当たりの表示結果数	1ページに表示する検索結果の最大数を指定 します。 任意の正の整数を入力します。

[プログラムの検索]ページに、検索基準を満たすプログラムがリストされます。

4. [表示するプログラムの選択]の下の [プログラム名] カラムで、プログラム名 をクリックします。

## [プログラムの概要]ページにプログラムが表示されます。

ブログラム: Black Diamond Initiative 스 黄

プログラム名:	Black Diamond Init	iative									
プログラムマネージャ:	Carolyn Sayer	&	プログラムのス	テータス:	アクティブ		~				
相对的優先度:			プログラム全体	のヘルス:			~				
スコア:			ボートフォリオ:		Advantage In	с.	_				
128月:	Corporate wide init better utilizing and	lative to contain co improving system:	sts and increase re Additionally to pre	venue within spare system	his environme and procedu	ent by res to	~				
	enable rapid expan	sion when econor	nic conditions trend	upward.			~				
ベネフィット:	Cost Savings. Imp	roved effectivenes	s and efficiency.								
							$\sim$				
							~				
<i>ステータ</i> ス ⊁€:	Financial Summary	shows additional	funding will be requ	ired to finish p	projects.		$\langle \rangle$				
模耍		EV分析									
プログラム コスト									財務サラル・	Black Diam	and Initiative
			,	***					3889	Diarck Diarity	ond maanv
				<b>4</b> 本主		and a			30919		582.03
1.04-00			T.R. 52 410 651			奥战		60.64	T28		失知
非人体争			\$2,419,00	n	30	03,130		\$4.02	3000		\$1 506 67
ait			\$4,689,75	1	\$1.3	295.416		\$6.64	5.973		\$1,892,16
											.,,.
ロンテンツ						<u>ر</u> ل	れーズしたもの?	き合める	コンテンツのう	8 <b>30</b> ] (=277	ンツの削除
47 142	8ff 77-	2+ 25-92	资本口	자	運用	그자	コストのヘノ	ス 速度	(%) スケ:	シュールさ スク	ジュールお
			予測合計	実装合計	予測合計	実統	est .				
* Tr	ensaction Manageme	Allen Hughes	モユー準備完了	\$0	\$0	\$1,740,00	v \$695,000				
a Sp Delyzon A M	ana System	Joseph Parely 1	ペモュー準備先す	\$0	50	\$240.00	70 \$585,000		222	1/4/42	0/20//0
потор 🥥 🗤	arketing WebPortel V	Joseph Banks II	マルマンドンエンドル税	0+12,164 \$1,976,793	\$892,420	2092,15 \$587.20	·· 0147,058		57%	12/1/12	9/30/12
1927/1 🕘 M	PO - Pilot	Joseph Banks 8	12	\$697 328	541 876	\$476.43	512 780		37.76	10/1/11	1/31/12
x Ci	stomer Dynamics		ISC L Ha-	\$194,808	\$0	\$455.28	18 50			2/1/13	7/31/13
ロジェクト 🔥 GI	obal Control Phase 1	Joseph Banks R	143	\$461,220	\$271,120	\$1,232,92	0 \$161,980		36%	9/1/11	12/31/12
0 mmediate	ETERSTOPH) - SET	0 Medium Di DDD = 14 6 6 Unikety		0		0					
aaaaa: Lov	v 📕 aaaaat Me	dium 📕 aaaaa	High								
ジネス目標										ビジネス	目標の適加
名前	25	F-97	オー	-+		<b>9</b> 7	- R		1280		
× Cost Conta	inment 递i	7中									
× 10% Increa	ase in Revenu 通行	中									
/ <b>T</b>											
·T											
測メモ:											
988 1987											
を照の追加											
5											
ふけファイル 5	▼ ista										
(27785) Sitter His Z											
184991-JBJIICEN'S	Sent:										
		100.7	2000								
		1 Fill	0.000								

# プログラムの変更の概要

プログラムの有効期間中にはさまざまなことが起こり、プログラムの変更が 必要になることがあります。プログラムの次の面を更新できます。

- 一般情報 ([プログラムの概要]ページ)
- ヘルスインジケータとプログラムの設定([プログラム設定]ページ)
- アクセス設定(プログラムの[アクセスの設定]ページ)
- 優先度([プログラムの優先順位付け]ページ)

次の各項では、これらの各タスクを実行する手順について説明します。

# プログラムの一般情報の変更

[プログラムの概要]ページから、アサイン、ビジネス目標、メモ、参照など、 プログラムの一般情報を更新できます。

プログラムの変更または削除には、[PMO: すべてのプログラムの編集] または [PMO: プログラムの編集] のアクセス許可が必要です。アクセス許可の詳細に ついては、『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』を参照してくだ さい。

プログラムの一般情報を変更するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- プログラムを検索し、選択します(「プログラムの検索」(40ページ)を参照)。
   [プログラムの概要]ページが開きます。

プログラムに加えた変更は、[プログラムの概要] ページで [**保存**] または [**完了**] をクリッ クするまで保存されません。 3. フィールド値に必要な変更を加えます。

フィールド名	説明
プログラム名	プログラム名 (最大255文字)。
プログラムの ステータス	プログラムのステータス。
プログラム マネージャ	プログラムマネージャとしてアサインされているリソース。
プログラム全体の ヘルス	プログラム全体のヘルスを評価するためにプログラムに アサインされている定性的な値 (色)。
相対的優先度	読み取り専用。アサインされている場合、組織のほかのプ ログラムに対する相対的な優先度。優先度をアサインする 方法については、「プログラムの優先度の更新」(66ページ) を参照してください。
ポートフォリオ	このプログラムで HP Portfolio Management が有効になっ ている場合、このプログラムが属するポートフォリオへの リンクの名前。HP Portfolio Management が有効になって いない場合、このフィールドは表示されません。
スコア	プログラムの価値を評価するための定性的な数値(整数)。
説明	プログラムの説明。
ベネフィット	プログラムのベネフィットの説明。
ステータスメモ	プログラムのステータスについて記録する追加情報

- 1 つ以上のライフサイクルエンティティをプログラムに関連付けるには、 次の手順を実行します。
  - a. [コンテンツ] セクションで [コンテンツの追加] をクリックします。

[新規プログラムコンテンツの追加] ウィンドウが開きます。

- b. エンティティの検索と選択には、2つの方法があります。
  - 特定の項目の追加:特定のタイプのライクサイクルエンティティを 名前で検索します。検索するライフサイクルエンティティのテキ ストボックスの横にあるアイコンをクリックします。

特定のエンティティの名前を選択した後、[**OK**] をクリックします。 選択したエンティティがテキストボックスに表示されます。[**追加**] をクリックすると、そのエンティティがプログラムに追加されます。

 追加するプログラムコンテンツの検索:指定した基準を満たすライ フサイクルエンティティを検索します。

検索基準を指定した後、[検索]を選択します。基準を満たすライフ サイクルエンティティがリストされます。ライフサイクルエンティ ティの横にあるチェックボックスを使って、プログラムに追加す るエンティティを選択し、[追加]をクリックします。

リストされるのは、自分が参加しているプロジェクトのみです。[すべてのプロジェクトの表示]のアクセス許可を持っている場合は、すべてのプロジェクトがリストされます。

現在のプログラムでHP Portfolio Managementが有効になっている場合、リストされ ているのは、別のポートフォリオに属さない、またはHP Portfolio Managementが有 効になっているプログラムに属さないライフサイクルエンティティのみです。つまり、 ライフサイクルエンティティが別のポートフォリオやHP Portfolio Managementが有 効になっているプログラムに属している場合、現在のプログラムへの追加はできま せん。

現在のプログラムでHP Portfolio Managementが有効になっていない場合、すべての ライフサイクルエンティティがリストされます。

ライフサイクルエンティティをポートフォリオやHP Portfolio Managementが有効に なっているプログラムに追加しても、そのポートフォリオまたはプログラムを保存し ていない場合、そのポートフォリオまたはプログラムを保存するまで、ライフサイク ルエンティティは引き続きリストされます。 [コンテンツ] セクションに、選択したライフサイクルエンティティが リストされます。

個々のライフサイクルエンティティを表示(つまり、提案、プロジェクト、資産を表示) しているとき、[関連付けられたプログラム]フィールドには、そのエンティティが関 連付けられているプログラムがリストされます。表示されているのは、自分が[プロ グラムの表示]、[プログラムの編集]、[すべてのプログラムの編集]のアクセス許可を 持っているプログラムのみです。

プロジェクトの作成方法については、『HP Project Management ユーザー ガイド』を参照してください。提案および資産の作成方法については、 『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

**c.** [**保存**] をクリックします。プログラムを保存せずに終了すると、追加 したコンテンツはプログラムに保存されません。

プログラムに追加しただけで保存しなかったコンテンツは、オレンジ 色で強調表示されたイタリックテキストで示されます。

 [コンテンツ] セクションでプログラムのクローズ済みコンテンツ(ステー タスが[クローズ済み]、[完了済み]、[キャンセル済み]になっているコン テンツ)を表示するには、[クローズしたものを含める] チェックボックスを 選択します。デフォルトでは、クローズ済みコンテンツは[コンテンツ] セクションには表示されません。

[コンテンツ] セクションには、プログラムに追加した (ただし保存はしていない) コンテン ツが表示されます。クローズ済みコンテンツを追加し、[**クローズしたものを含める**] チェックボックスを選択しない場合、クローズ済みコンテンツはプログラムを保存または 終了するまで [コンテンツ] セクションに表示されます。

- 6. プログラムにビジネス目標を関連付けるには、次の手順を実行します。
  - a. [ビジネス目標] セクションで [ビジネス目標の追加] をクリックします。 選択ウィンドウが開き、ビジネス目標のリストが表示されます。
  - b. プログラムに関連付けるビジネス目標の名前をクリックします。

選択ウィンドウが閉じ、[ビジネス目標] セクションに選択した目標がリ ストされます。

c. プログラムにさらにビジネス目標を追加するには、手順 6を繰り返し ます。

ビジネス目標の作成方法については、「ビジネス目標の作成」(17ページ)を参照してください。

7. プログラムにメモを追加するには、内容を[新規メモ]フィールドに入力します。

プログラムの保存後に、ユーザ名、メモの作成日時、およびメモの内容が [**メモ**] セクションに表示されます。

- 8. プログラムに参照を追加するには、次の手順を実行します。
  - a. [参照] セクションの [新規参照] リストで、プログラムに追加する参照 のタイプを選択します。
  - b. [追加] をクリックします。

次に開く選択ウィンドウは、[新規参照]リストで選択した参照タイプ によって異なります。参照タイプと対応する選択ウィンドウの一覧に ついては、「プログラム参照の追加」(67ページ)を参照してください。

[保存時に追加される参照] セクションに、選択した参照がリストされます。

- c. リストされている参照をプログラムに添付するには、[**保存**]をクリッ クします。
- d. プログラムから参照を削除するには、参照の名前を選択して [**削除**] を クリックします。
- プログラムへの変更を保存するには、[保存] または [完了] をクリックします。

#### [プログラムの概要]ページへの列の追加

[プログラムの概要]ページの[コンテンツ]セクションに列を追加できます。それには、列の見出し行の右端をクリックしてから、[列]>[<列名>]をクリックします。列を削除するには、列名の選択を解除します。

### 列値を基準としたプログラムのグループ化とグループ解除

[プログラムの概要]ページの[**コンテンツ**]セクションでは、任意の特定の列の 各種値に一致する見出しの下にまとめることで、行を整理できます。それに は、グループにする値を持った列の見出し行の右端をクリックしてから、[**<列 名> でグループ化**]をクリックします。 グループ化(見出し)ができた後で任意の列の右端をクリックすると、追加された[**グループ解除**]オプションが表示されます。[**グループ解除**]をクリックすると、見出しが削除されます。

### プログラムからのライフサイクルエンティティ、ビジネス目標、参照の削除

[プログラムの概要]ページから、コンテンツ(ライフサイクルエンティティ)、 ビジネス目標、参照など、プログラムの一般情報を削除できます。

プログラムからライフサイクルエンティティ、ビジネス目標、参照を削除す るには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- プログラムを検索し、選択します(「プログラムの検索」(40ページ)を参照)。
   [プログラムの概要]ページが開きます。

プログラムに加えた変更は、[プログラムの概要] ページで [**保存**] または [**完了**] をクリッ クするまで保存されません。

- 1つ以上のライフサイクルエンティティをプログラムから削除するには、次の手順を実行します。
  - a. [コンテンツ] セクションで、1つ以上のライフサイクルエンティティを 選択します (複数のエンティティを選択するには、[Shift] を押しながら クリック、または [Ctrl] を押しながらクリックします)。
  - b. [コンテンツの削除] をクリックします。
- 4. ビジネス目標を削除するには、次の手順を実行します。
  - a. 削除するビジネス目標の横にある [削除] アイコンをクリックします。
- 5. 参照を削除するには、次の手順を実行します。
  - a. 削除する参照の横にある [詳細] をクリックします。
  - b. [削除] をクリックします。

# プログラムの削除

プログラムを削除するには、[プログラムの概要]ページを使用します。プロ グラムのライフサイクルエンティティ、関連付けられているスコープ変更、リ スク、問題は削除されません。

プログラムを削除するためには、そのプログラムのプログラムマネージャとしてアサインされ、 [PMO: プログラムの編集] または [PMO: すべてのプログラムの編集] のアクセス許可を持って いる必要があります。

プログラムを削除するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. プログラムを検索し、選択します(「プログラムの検索」(40ページ)を参照)。 [プログラムの概要]ページが開きます。
- 3. ページの右上隅にある [詳細] > [削除] をクリックします。

# プログラムの設定

すべてのプログラムには設定があり、プログラムマネージャは個々プログラムを目的に合わせて設定できます。

プログラム設定を表示または編集するには、[プログラムの概要]ページの右 上隅にある[詳細]>[**プログラム設定**]をクリックします。

#### HP Financial Management

HP Financial Managementには、計画関連のコストデータをトラッキングする機能があります。プログラムに含まれているライフサイクルエンティティの財務情報を表示できるのは、そのエンティティが財務情報をトラッキングできるように設定されており、そのプログラムに対してHP Financial Managementを有効にしている場合です。

財務情報には、全体のアクティブなベースラインコスト、予測コスト、実績 コストが含まれます。人件費と非人件費、資本支出と事業費に基づく内訳も 表示されます。プロジェクト計画の実行中のコストデータを取得し、このコ ストデータをプロジェクトまたはプログラムの財務サマリに記録されている 財務データと比較できます。 HP Financial Management が有効になっている場合、[プログラムの概要] ページには [プログラムコスト] セクションと [EV分析] タブが表示されます。[プログラムコスト] セクションには、提案、プロジェクト、資産の財務データのサマリが表示され、プログラムのコストをトラッキングできるようになっています。[EV分析] タブでは、SPIやCPIなどのコストデータをプログラム内のプロジェクト全体で比較できます。コストデータおよび公式の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

[プログラムコスト] セクションでは、リンクを選択してプログラムの財務サ マリを表示することもできます。財務サマリには、プログラムに含まれてい るすべての提案、プロジェクト、資産の財務情報の概要が表示され、MicrosoftR Excel にデータをエクスポートできます。詳細については、『HP Financial Managementユーザーガイド』を参照してください。



プログラムの財務サマリで表示されるカテゴリは、資本計上トラッキングを有効にしているか どうかによって異なります。

#### HP Portfolio Management

プログラムに対してHP Portfolio Managementを有効にしている場合、ポートフォ リオにプログラムを追加できます。現在、プログラムがポートフォリオに関 連付けられている場合、そのプログラムに対してHP Portfolio Managementを無 効にすることはできません。

ポートフォリオにプログラムを追加するには、次の要件を満たしている必要 があります。

- Portfolio Managementのライセンスを持っていること
- プログラムに対してHP Portfolio Management が有効になっていること
- HP Portfolio Management が有効になっているプログラムを追加できるポートフォリオは1つのみです。たとえば、Program1をPortfolio1に追加した場合、ほかのポートフォリオにはProgram1を追加できません。

 プログラムのコンテンツ(提案、プロジェクト、資産)を追加できるのは、 HP Portfolio Managementが有効になっているポートフォリオまたはプログ ラム1つのみです。たとえば、Program1でHP Portfolio Managementが有効 になっており、Project1をProgram1に追加した場合、Project1をPortfolio1に 追加することはできません。同様に、Proposal1をPortfolio1に追加した場 合は、Proposal1をProgram1に追加することはできません。

詳細については、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

# プログラムインジケータの設定

プログラムインジケータにより、プログラムの問題、スコープ変更、リスク のステータスをすぐに把握できます。これらのインジケータは、[プログラム の概要]ページのプログラムリストポートレットで色分けされたアイコンと して表示されます。

HP Program Management で表示できる各リクエストタイプには、それぞれヘル スインジケータがあります。これは、ほかのインジケータと無関係に設定す ることが可能です。これらのインジケータを設定するには、[プログラム設定] ページの [**ヘルスインジケータ**] セクションを使用します。次の各項では、これ らのヘルスインジケータについて説明します。

#### プロジェクトおよびプログラムの問題

問題により、プロジェクトおよびプログラム関連のすべての問題を特定および 解決するためのフレームワークが提供されます。解決プロセスをより詳細に 示すため、問題が複数のリクエストタイプにまたがっていることもあります。

問題がプログラムに対して直接記録されている場合は、プログラムそのもの に問題があることを示しています。たとえば、企業の方向が変更された場合、 プログラムの目標を再評価する必要が生じることがあります。



プロジェクトについて送信された問題は、必要に応じてプログラムレベルにエスカレーション されます。プログラムレベルにエスカレーションされていないプロジェクトの問題は、HP Program Managementでは表示されません。 プログラムにリンクされているプロジェクトについて記録された問題をプロ ジェクトマネージャが解決できない場合、その問題をプログラムレベルで可 視化する必要があります。たとえば、問題を解決するために、複数のプロジェ クト間での連携が必要なことがあります。

HP Program Management では、問題のトラッキングがデフォルトで有効になっています。問題のトラッキングを無効にするには、[プログラム設定] ページの [プログラムの問題] サブセクションで、[このプログラムの問題をトラッキング] オプションの横にある [いいえ] を選択し、[保存] をクリックします。

問題のヘルスは、優先度がアサインされている問題の数に基づいています。プ ログラムの問題のヘルスの計算で考慮されるのは、そのプログラムについて 直接記録されたオープンされている問題か、そのプログラム内のアクティブ なプロジェクトのプログラムレベルにエスカレーションされたオープンされて いる問題のみです(プロジェクトがクローズされて資産になった場合、そのプロ ジェクトからプログラムレベルにエスカレーションされた問題は HP Program Management で引き続き表示され、プログラムの問題のヘルスの計算に使用さ れます)。プログラムマネージャは、異なる優先度がアサインされた問題にさ まざまな重みをアサインできます。また、ヘルスのステータスレベル(黄色お よび赤色のインジケータ)にしきい値をアサインすることもできます。

たとえば、次のように、プログラムの問題の優先度に重みをアサインしたと します。

- 重大:8
- 高:5
- 通常:3
- 低:1

プログラムの問題の数は次のとおりとします。

- 優先度が「高」の問題が3個
- 優先度が「通常」の問題が2個
- 優先度が「低」の問題が6個

これらのプログラムの問題に対して計算される全体のヘルス値は、 $(3 \times 5 + 2 \times 3 + 6 \times 1) = 27$ です。

黄色のヘルスインジケータのしきい値が20で、赤色のヘルスインジケータの しきい値が40の場合、このプログラムの問題には黄色のヘルスインジケータ が表示されます。



[優先度] リストに表示される値 (名前、表示数)は、検証 Workbench から変更できます(検証 Workbench にアクセスするには、PPM Workbench を開き、ショートカットメニューで[構成] > [検証] を選択します)。

インジケータのデフォルトのしきい値は次のとおりです。

- 赤色:40
- 黄色:20
- 緑色:20未満のすべての値

プログラムの問題の優先度にアサインされるデフォルトの重みは次のとおりです。

- 重大:5
- 高:3
- 通常:1
- 低:0

#### プログラムリスク

リスクにより、プログラムの成功を脅かす脅威を記録および解決できます。起 こり得るリスクに関する情報(インパクト、発生の確率など)を収集するプロ セスは合理化されています。

プログラム内のプロジェクトについて記録されたリスクは、連携して対応で きるように、プログラムレベルで可視化される必要があります。多くの組織 では、プログラムマネージャは発生する可能性の高いリスクのみに対応します。

HP Program Managementでは、リスクのトラッキングがデフォルトで有効になっています。リ スクのトラッキングを無効にするには、[プログラム設定] ページの [**プログラムリスク**] サブ セクションで、[**このプログラムのリスクをトラッキング**] オプションの横にある [**いいえ**] を選択し、[**保存**] をクリックします。 プログラムリスクのヘルスは、特定のリスクレベルおよび確率に分類された リスクの数に基づいています。プログラムリスクのヘルスの計算には、プロ グラムについて直接記録されたリスクと、プログラムに含まれるプロジェク トについて記録されたリスクが使用されます。

プログラムマネージャは、異なるインパクトレベルおよび確率がアサインさ れたリスクにさまざまな重みをアサインできます。また、黄色と赤色のヘル スインジケータのしきい値も設定できます。

たとえば、リスクのインパクトおよび確率に次の重みをアサインしたとします。

- インパクトレベル1:7
- インパクトレベル2:5
- インパクトレベル3:3
- 確率「高」:3
- 確率「中」:2
- 確率「低」:1

プログラムについて、次のように3つのリスクが記録されています。

- リスク1:インパクトレベル=1、確率=高
- リスク2:インパクトレベル=2、確率=低
- リスク3:インパクトレベル=3、確率=高

インパクトレベルおよび確率に重みを掛けることで、各リスクによる全体の ヘルスへの影響が計算されます。この場合、計算されるリスクのヘルス値は (7×3+5×1+3×3)=35です。黄色のヘルスのしきい値が20で、赤色のヘ ルスのしきい値が30の場合、このプログラムのリスクのヘルスには赤色のヘ ルスインジケータが表示されます。

インジケータのデフォルトのしきい値は次のとおりです。

- 赤色:40
- 黄色:20

緑色:20未満のすべての値

リスクのインパクトおよび確率にアサインされるデフォルトの重みは次のとおりです。

- インパクトレベル1:5
- インパクトレベル2:3
- インパクトレベル3:1
- 確率「高」:5
- 確率「中」:3
- 確率「低」:1

#### プログラムのスコープ変更

スコープの変更により、プログラムおよび個々のプロジェクトのスコープを 管理できる状態を維持できます。プログラム内のプロジェクトについて記録 されたスコープ変更が大規模な場合や、その他の理由で特に注意が必要な場 合、プログラムレベルで可視化される必要があります。

送信したスコープ変更リクエストは評価された後、却下されるか、プログラ ムまたはプロジェクトのスコープに組み込まれます。プログラムおよびプロ ジェクトのスコープを制御するには、潜在的な変更を明確に特定、調整、処 理する必要があります。



HP Program Management では、スコープ変更リクエストのトラッキングがデフォルトで有効 になっています。スコープ変更リクエストのトラッキングを無効にするには、[プログラム設定] ページの [プログラムのスコープ変更] サブセクションで、[このプログラムのスコープ変 更をトラッキング] オプションの横にある [いいえ] を選択し、[保存] をクリックします。

スコープ変更のヘルスは、特定の重要度に分類されるスコープ変更の数に基 づいています。スコープ変更のヘルスの計算には、プログラム内のプロジェク トについて記録されたオープンされているスコープ変更のみが使用されます。

プログラムマネージャは、異なる重要度を持つスコープ変更にさまざまな重 みをアサインできます。また、黄色と赤色のヘルスインジケータのしきい値 も設定できます。

たとえば、プログラムのスコープ変更の重要度に次の重みをアサインしたとします。

- 重大:8
- 高:5
- 中:3
- 低:1

また、プログラムに次のスコープ変更が発生したとします。

- 「重大」のスコープ変更3件
- 「中」のスコープ変更2件
- 「低」のスコープ変更6件

問題に対して計算される全体のヘルス値は、(3×8+2×3+6×1)=36です。 黄色のヘルスインジケータのしきい値が20に、赤色のヘルスインジケータの しきい値が40に設定されている場合、プログラムのスコープ変更には黄色の インジケータが表示されます。

プログラムのスコープ変更のヘルスインジケータのデフォルトのしきい値は 次のとおりです。

- 赤色:40
- 黄色:20
- 緑色:20未満のすべての値

プログラムのスコープ変更の重要度にアサインされるデフォルトの重みは次 のとおりです。

- 重大:5
- 高:3
- 中:1
- 低:0



問題、リスク、スコープ変更は、プロジェクトマネジメント協会が発行している『A Guide to the Project Management Body of Knowledge』に従ってモデル化されています。

# プログラム設定の変更

プログラムのインジケータ設定を変更するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. インジケータ設定を変更するプログラムを開きます。

プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ) を参照して ください。

[プログラムの概要]ページに、選択したプログラムの詳細が表示されます。

### 3. ページの右上隅にある [詳細] > [プログラム設定] をクリックします。

[プログラム設定]ページが開きます。

Financial Managemen	nt 設定			
Financial Managementを有	効にすると、このプログラムの財務情報を表示でき	at.		
🗌 このプログラムの Financ	cial Management を有効にする			
Portfolio Management	t設定			
Portfolio Management を有交	効にすると、このプログラムをコンテンツとしてポート	フォリオに追加できます。		
🗌 このプログラムの Portfol	lio Management を有効にする			
ヘルス インジケータ				既定値に戻
プログラムの問題				
<b>このプログラムの問題をトーラ</b> プログラムの問題へルスは、:	<b>ッキング ◎ はい ○ いいえ</b> ブログラムの問題すべての垂みを加算することで決	定されます。以下に、問題の重みを優先度を基に指定できま	₫.	
優先度	重み			
Æ	0			
通常	1			
Ř	3			
重大	5			
ヘルス				
このプログラムの問題 ヘルス:	が 🛆 となるのは、オープンされているすべての間	顕の重み合計が次の値以上の場合: 20		
このプログラムの問題 ヘルス; このプログラムの問題 ヘルス;	が 🦲 となるのは、オープンされているすべての間 が 📕 となるのは、オープンされているすべての間	題の重み合計が次の値以上の場合: 20 題の重み合計が次の値以上の場合: 40		
このプログラムの問題へルス; このプログラムの問題へルス; プログラム リスク	が 🦰 となるのは、オープンされているすべての間 が 📕 となるのは、オープンされているすべての間	職の重み合計が次の値以上の場合: 20 騒の重み合計が次の値以上の場合: 40		
このプログラムの問題へルス; このプログラムの問題へルス; プログラム リスク このプログラムのリスクをトラ プログラムのリスク ヘルスは、 インパクト	が ▲ となるのは、オープンされているすべての間 が ■ となるのは、オープンされているすべての間 (ラキング ● はい ○ いいえ 、プログラムのリスクすべての豊みを加算することで 重み	協の重みる計が次の値以上の場合: 20 協の重みる計が次の値以上の場合: 40 (決定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を) 確定	遊に指えてきます。 - <b>産</b> 奏	
このプログラムの問題へルス: このプログラムの問題へルス: プログラム リスク このプログラムのリスク フログラムのリスクへルスは、 インパクト レベル1	が ▲ となるのは、オープンされているすべての間 が ■ となるのは、オープンされているすべての間 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ な ・ な ・ な ・ 、 オープンされているすべての間 ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ な ・ な ・ な の の は、 、 ・ 、 ・ 、 、 ・ 、 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	語の豊み合計が次の値以上の場合:20 語の豊み合計が次の値以上の場合:40 決定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を 職家 高[26-100%]	巻に指定できます。 <u>服み</u> 「 <b>5</b> 」	
このプログラムの問題へルス: このプログラム りスク ブログラム リスク このプログラム リスク フログラムのリスク ヘルスは、 インパクト レベル 1 レベル 2	が ▲ となるのは、オープンされているすべての間 が ■ となるのは、オープンされているすべての間 、プログラムのリスクすべての違みを加算することで 置み 5 3 3	語の重み合計が次の値以上の場合: 20 語の重み合計が次の値以上の場合: 40           決定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を 構築           福祉           福祉           第126-100%           中[11-25%]	遊に指定できます。 服み <u>5</u> 3	
このプログラムの問題へルス: このプログラムの問題へルス: プログラムリスク このプログラムのリスク スクスクレスシールスは、 インパント レベル 1 レベル 2 レベル 3	が ▲ となるのは、オープン会れているすべての間 が ■ となるのは、オープン会れているすべての間 ・サキング ● はい ○ いいえ 、プログラムのリスクすべての日本を回答することで 服み 5 5 3 1	雄の豊みら計が次の値以上の場合: 20 種の豊みら計が次の値以上の場合: 40 快変されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を 職業 高 [26-109%] 年 [11:25%] 低 [0-10%]	巻に指定できます。 乗 条 「 5 ] 「 3 ] 「 1 ]	
このプログラムの問題へルス: このプログラムの内強ヘルス: プログラムリスク このプログラムのリスク スクズのトレースに、 レベル 1 レベル 2 レベル 3 ヘルス	が ▲ となるのは、オープン会れているすべての間 が ■ となるのは、オープン会れているすべての間 ラキング ● はい ○ いいえ 、プログラムのリスクすべての日みを知知することで ■み 5 5 3 1	雄の重みる計が次の値以上の場合: 20 磁の重みる計が次の値以上の場合: 40 快定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を: 構築 第(26-100%) 年 [11-25%] 長 [0-10%]	巻に始定できます。 雅み <u>5</u> 3 1	
このプログラムの問題へルス: このプログラムの内部へルス: プログラムのリスク このプログラムのリスク インパクト レベル 1 レベル 2 ヘルス このプログラムのリスクへルン:	が ▲ となるのは、オープン含れているすべての間 か ■ となるのは、オープン含れているすべての間 ・ マッシグ ● はい ○ いいえ 、プログラムのリスクすべての直みを加算することで 重み 5 3 1 1 2 2 2 2 3 1 1	磁の重みら計が次の値以上の場合: 20 磁の重み合計が次の値以上の場合: 40 「決定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を 確定 高 [25-100%] 中 [11-25%] 家 [0-10%] リスクの重み合計が次の値以上の場合: 20	巻に指定できます。	
このプログラムの問題 小レス このプログラムの内部 小レス プログラム リスク このプログラムのリスク へルスは、 インパント レベル 1 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスク ヘルス このプログラムのリスク ヘルス	が ▲ となるのは、オープン含れているすべての間 が ■ となるのは、オープン含れているすべての間 か ■ となるのは、オープン含れているすべての間 ・ プログラムのリスクすべての目みを加算することで 重み 5 3 1 スが ▲ となるのは、オープン含れているすべてのり スが ■ となるのは、オープン含れているすべてのり	協の重みら計が次の値以上の場合: 20 協の重みら計が次の値以上の場合: 40 協定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を 職業 第 [25-100%] 中 [11-25%] 使 [0-10%] リスクの重みる計が次の値以上の場合: 20 ノスクの重み合計が次の値以上の場合: 40	巻に指定できます。	
このプログラムの問題へルス: このプログラムの問題へルス: プログラムのリスク インプンクト レベル 1 レベル 2 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスク ヘル2 プログラムのリスク ヘル2	が ▲ となるのは、オープンされているすべての間 が ■ となるのは、オープンされているすべての間 ・プログラムのリスクすべての重みを加算することで 重み 5 3 2 2 5 - - - - - - - - - - - - -	協の豊み合計が次の値以上の場合: 20 協の豊み合計が次の値以上の場合: 40 快定されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を 職業 第 [26-10%] 年 [11-25%] 度 [0-10%] リスクの重み合計が次の値以上の場合: 20 リスクの重み合計が次の値以上の場合: 40	巻に指定できます。 重み <u> 重み</u> 5 <u> 5</u> 1 1	
このプログラムの問題へルス: このプログラムの問題へルス: プログラムのリスク イログラムのリスクへルスは、 インパクト レベル 1 レベル 2 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスクへルン プログラムのフスコープ変担 このプログラムのスコープ変担	が ▲ となるのは、オープン含れているすべての間 が ● となるのは、オープン含れているすべての間 ・ クログラムのリスクオペての見みを加算することで 重み 5 3 2 2 5 5 5 1 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	協の豊み合計が次の値以上の場合: 20 協の豊み合計が次の値以上の場合: 40 快定されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を 職業 第 [26-10%] 年 [11-25%] 度 [0-10%] リスクの重み合計が次の値以上の場合: 20 リスクの重み合計が次の値以上の場合: 40	徳川指定で巻ます。 参加 参加 5 5 5 1 3 1	
このプログラムの問題、小ス、 このプログラムの問題、小ス、 プログラムリスク このプログラムのリスク レベル 1 レベル 1 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスク ヘルス このプログラムのリスク ヘル プログラムのフスコープ変更 ログラムのスコープ変更 へり プログラムのスコープ変更 へり		雄の豊みら計が次の値以上の場合: 20 種の豊み合計が次の値以上の場合: 40 快変されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を 「職業 高[26-109%] 中[11-25%] 年[11-25%] 新している。 20 リスクの豊み合計が次の値以上の場合: 20 リスクの豊み合計が次の値以上の場合: 40 回盟することで決定されます。以下に、スコープ支援の豊みを	巻に指定できます。	
このプログラムの内閣 へいス: このプログラムの内閣 へいス: プログラムのリスク エのフログラムのリスク へいスは、 インパクト レベル 1 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスク へいこ コログラムのスコープ楽型 ごのプログラムのスコープ楽型 ション		磁の重みる計が次の値以上の場合: 20 磁の重みる計が次の値以上の場合: 40 一般でするまます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を: 一般率 高 [26-100%] 中 [14:25%] 低 [0-10%] 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	<ul> <li>※に指定できます。</li> <li>第本</li> <li>5</li> <li>3</li> <li>1</li> </ul>	
C クログラムの内容 へいた、 C クログラムの(内容 へいた、 プログラムの(ワク へいた)、 イログラムの(ワク へいた)、 インパクト レベル 1 レベル 2 ベルス 2 ベルス 2 ベルス 2 ベルス 2 C のプログラムの(ワス) へいた プログラムの(フス) 一プ(空)、 プログラムの(フス) 一プ(空)、 プログラムの(フス) 一プ(空)、 プログラムの(フス) 一プ(空)、 プログラムの(フス) 一プ(空)、 プログラムの(フス) 一プ(空)、 スペンス 2 C の(フログ) (ログ) (ログ) (ログ) (ログ) (ログ) (ログ) (ログ) (	<ul> <li>         が ▲ となるのは、オープン含れているすべての例         が ■ となるのは、オープン含れているすべての例         が ■ となるのは、オープン含れているすべての例</li></ul>	協の重み合計が次の値以上の場合: 20 協の重み合計が次の値以上の場合: 40 協定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を 確定 第 [25-100%] 中 [11-25%] 夜 [11-25%] 夜 [11-25%] 夜 [1-10%]	毎に指定できます。 業本 5 3 1 1 4 第単条条巻に指定できます。	
このプログラムの問題、小レス: このプログラムの問題、小レス: プログラムのリスク、 オログラムのリスク、 レベル 1 ログラムのリスク、小レスは、 インパクト このプログラムのリスク、小レン このプログラムのリスク、小レン このプログラムのスコープ第三 ログラムのスコープ第三人 ログラムのスコープ第三人 コグラムのスコープ第三人 第二人	が ▲ となるのは、オープンされているすべての間 が ■ となるのは、オープンされているすべての間 が ■ となるのは、オープンされているすべての同 、プログラムのリスクすべての重みを加算することで 要み 5 1 1 2が ▲ となるのは、オープンされているすべての' 変 変 数 → マンされているすべての 変 変 数 → マンされているすべての 変 変 数 → マンされているすべての の 変 変 数 → マンされているすべての目 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	雄の豊み会社が次の値以上の場合: 20 種の豊み合社が次の値以上の場合: 40 決定されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を 構築 高 [26-109%] 中[14:25%] 町[1-25%] 町[1-15%] 500 500 500 500 500 500 500 50	巻に指定できます。	
このプログラムの内閣 小ルス このプログラムの内閣 小ルス プログラムリスク このプログラムリスク レベル 1 レベル 1 レベル 2 このプログラムのリスク 小ルスは、 インパクト このプログラムのリスク ヘルス ごのプログラムのリスク ヘルス プログラムのリスク ヘルス ごのプログラムのリスク ヘルス ごのプログラムのリスク ヘルス 変更 このプログラムのリスフープ変更 プログラムのスコープ変更 プログラムのスコープ変更 「 整要 整大 整 キ		雄の豊みさ計が次の値以上の場合: 20 棚の豊み合計が次の値以上の場合: 40 一 供定されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を: 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	<ul> <li>歴史</li> <li>単本</li> <li>5</li> <li>3</li> <li>1</li> </ul>	
このプログラムの問題、小ス: このプログラムの引スク このプログラムの引スク このプログラムのリスク へルスは、 インパクト レベル 1 レベル 2 レベル 3 ペルス このプログラムのリスク へルス このプログラムのリスク へル2 ごのプログラムのスコープ楽型 このプログラムのスコープ楽型 このプログラムのスコープ楽型 高 素 単 単 この、 ニュープ家美人員 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	<ul> <li>         が ▲ となるのは、オープン含れているすべての例         が ■ となるのは、オープン含れているすべての例         が ■ となるのは、オープン含れているすべての例              での方、のリスクすべての見みを加算することで             重み             「</li></ul>	<ul> <li>編の重みら計が次の値以上の場合: 20</li> <li>編の重みら計が次の値以上の場合: 40</li> <li>編定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を: 第二26-100%」</li> <li>申[11-25%]</li> <li>申[11-25%]</li> <li>第 [26-100%]</li> <li>リスクの重みら計が次の値以上の場合: 20</li> <li>リスクの重みら計が次の値以上の場合: 40</li> <li>回篇することで決定されます。以下に、スコープ変更の重みを</li> </ul>	巻に指定できます。	
このプログラムの問題、小ス、 このプログラムの見知人 リスク このプログラムのリスク このプログラムのリスク へんスは、 レベル 1 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスク へんご このプログラムのリスク へんご このプログラムのスコープ変更く」 運業度 整大 第 キ キ ・ ペート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul> <li>         が ● となるのは、オープン含れているすべての例         が ● となるのは、オープン含れているすべての例         が ● となるのは、オープン含れているすべての例         </li> <li>         テラング ● はい ○ いいえ         </li> <li>         プログラムのリスクすべての豊みを加算することで         重み         </li> <li>         「</li></ul>	<ul> <li>編の豊み合計が次の値以上の場合: 20</li> <li>編の豊み合計が次の値以上の場合: 40</li> <li>(決定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を 確定 第(25-100%) 中 [11-25%] 夜 [11-25%] 夜 [11-25%] 夜 [11-25%]</li> <li>夏の リスクの重み合計が次の値以上の場合: 20</li> <li>リスクの重み合計が次の値以上の場合: 40</li> <li>回該することで決定されます。以下に、スコープ実更の重みを</li> </ul>	巻に指定できます。 <u>職本</u> 5 3 1 1 重票画を帯に指定できます。	
このフログラムの問題、小ルス このフログラムの問題、小ルス プログラムのリスク へいスは、 インパクト レベル 1 レベル 2 レベル 3 ヘルス このプログラムのリスク へいスは、 このプログラムのリスク へいス このプログラムのスコープ変更入 型表 整 ペルス このプログラムのスコープ変更入 型素 を に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、		協の豊み会社が次の値以上の場合: 20 協の豊み合社が次の値以上の場合: 40 快変されます。以下に、リスクの豊みをインパクトと可能性を 「職業 (26-109%) 中 [11-25%] 町 [12-5%] 低 [0-10%] リスクの豊み合社が次の値以上の場合: 20 リスクの豊み合社が次の値以上の場合: 40 回該することで決定されます。以下に、スコープ変更の豊みを	巻に指定できます。 服み 「「5」 3」 「1」 健業県を巻に指定できます。	

 Cのプログラムに対してHP Financial Managementを有効にするには、 [Financial Management設定]の下で[このプログラムのFinancial Managementを有効にする] チェックボックスを選択します。  このプログラムに対してHP Portfolio Managementを有効にするには、 [Portfolio Management設定]の下で[このプログラムのPortfolio Management を有効にする]チェックボックスを選択します。HP Portfolio Managementを 有効にすることで、プログラムをコンテンツとしてポートフォリオに追加 できるようになります。

プログラムをコンテンツとしてポートフォリオに追加した場合、このチェックボックスは 選択した状態のままにする必要があります。このチェックボックスの選択を解除すると、 プログラム設定を保存できません。

 プログラムの問題のヘルスは、オープンされているすべてのプログラムの 問題の重みを合計することで決定されます。優先度に基づき、問題に相対 的な重みをアサインできます。

プログラムの問題のヘルスインジケータを有効化して設定するには、[**プ** ログラムの問題] セクションで次の手順を実行します。

- a. プログラムの問題をトラッキングするには、[このプログラムの問題をト ラッキング] で [はい] が選択された状態のままにします。
- b. プログラムの優先度に対する重みの値を変更するには、[**重み**]フィー ルドにそれぞれの優先度に対する新しい重みの値を入力します。デ フォルト値は次のとおりです。
  - 低=0
  - 通常=1
  - 高=3
  - 重大=5

プログラムのヘルスを計算するため、オープンされているすべてのプ ログラムの問題の重みが合計されます。問題の数と重大度が要注意レ ベルに達したときに、警告(黄色)および重大(赤色)のインジケータ を表示するためのしきい値を設定できます。

- c. プログラムの問題の警告のしきい値を変更するには、[**ヘルス**]の下に ある黄色のインジケータの横に新しい値を入力します(デフォルト値 は20)。
- d. プログラムの問題の重大のしきい値を変更するには、[ヘルス]の下に ある赤色のインジケータの横に新しい値を入力します(デフォルト値 は40)。

 プログラムリスクのヘルスは、オープンされているすべてのプログラムリ スクの重みを合計することで決定されます。インパクトと確率に基づき、 リスクに相対的な重みをアサインできます。

プログラムリスクのヘルスインジケータを設定するには、[プログラムリス ク] セクションで次の手順を実行します。

- a. プログラムリスクをトラッキングするには、[このプログラムのリスクを トラッキング] で[はい] が選択された状態のままにします。
- b. インパクトレベルに対する重みの値を変更するには、それぞれのイン パクトレベルに新しい数値を入力します。インパクトレベルのデフォ ルト値は次のとおりです。
  - レベルレ1=5
  - レベルレ2=3
  - レベルン3=1
- c. 確率の値に対する重みの値を変更するには、それぞれの確率に新しい 数値を入力します。確率の値のデフォルト値は次のとおりです。
  - 高 [26-100%] = 5
  - 中[11-25%]=3
  - 低 [0-10%] = 1
- d. プログラムリスクの警告の値(黄色)を変更するには、[ヘルス]の下で 新しい値を入力します(デフォルト値は20)。
- e. プログラムリスクの重大の値(赤色)を変更するには、[ヘルス]の下で 新しい値を入力します(デフォルト値は40)。

 プログラムのスコープ変更のヘルスは、オープンされているすべてのプロ グラムのスコープ変更の重みを合計することで決定されます。異なる重要 度を持つスコープ変更にさまざまな重みをアサインできます。

プログラムのスコープ変更のヘルスインジケータを有効化して設定する には、[**プログラムのスコープ変更**] セクションで次の手順を実行します。

- a. プログラムのスコープ変更をトラッキングするには、[ このプログラム のスコープ変更をトラッキング] で [はい] が選択された状態のままにし ます。
- b. スコープ変更の重要度に対する重みの値を変更するには、それぞれの 重要度に新しい数値を入力します。デフォルト値は次のとおりです。
  - 重大=5
  - 高=3
  - 通常=1
  - 低=0
- c. プログラムのスコープ変更の警告の値(黄色)を変更するには、新しい 値を入力します(デフォルト値は20)。
- d. プログラムのスコープ変更の重大の値(赤色)を変更するには、新しい 値を入力します(デフォルト値は40)。
- 9. インジケータ設定への変更を保存し、[プログラム設定] ページを閉じるに は、[**完了**] をクリックします。

# プログラムアクセスの設定

組織では通常、一部の内部情報やビジネスプロセスへのアクセスを制御して います。これは、給与などの機密情報を保護すること、またはユーザによっ ては無用なデータを隠すことでビジネスプロセスをシンプルにすることを目 的としています。HP Program Managementのデータアクセスには、2つのレベ ルがあります。

- プログラムアクセス
- コストアクセス

プログラムアクセスおよびコストアクセスの設定は、[アクセスの設定]ペー ジでプログラムごとに行います。

プログラムへのアクセスを編集または更新するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. プログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40ページ)を参照して ください。

[プログラムの概要]ページに、プログラム情報が表示されます。

ページの右上隅にある [詳細] > [アクセスの設定] をクリックします。
 [アクセスの設定] ページが開きます。

test\_program のアクセスの設定 保存 完了 キャンセル プログラム アクセス Admin User、このプログラムのプログラム マネージャの他に、表示アクセス権限を付与する対象 Otal. ◯このプログラム内のすべてのコンテンツマネージャ ○Lのシージンスティン・ ●その他のすべてのプログラムマネージャ ○その他のすべてのプログラムマネージャ、およびこのプログラム内のユンテンツマネージャ Oこれらのセキュリティグループのみ: セキュリティグループ セキュリティグループの追加 コストとベネフィット アクセス Admin User、このプログラムのプログラム マネージャの他に、表示アクセス権限を付与する対象 でれ このプログラム内のすべてのコンテンツマネージャ うその他のすべてのプログラムマネージャ うその他のすべてのプログラムマネージャ うその他のすべてのプログラムマネージャ ものこのプログラムログラムマネージャ Oこれらのセキュリティグループのみ: ヤキュリティグループ セキュリティグループの追加 保存 完了 キャンセル

- 4. [**プログラムアクセス**] セクションで、プログラムへのアクセスを付与する 対象として次のいずれかを選択します。
  - なし
  - このプログラム内のすべてのコンテンツマネージャ
  - その他のすべてのプログラムマネージャ
  - すべてのプログラムマネージャ、およびこのプログラム内のプロジェクトマ ネージャ
  - これらのセキュリティグループのみ:

実質的には、プログラムマネージャは [プログラムの編集](または [すべてのプログラムの編集])のアクセス許可を持っている任意のユーザです。ユーザがプログラムマネージャに アサインされていても、必要なアクセス許可を持っていなければ、プログラムを管理する ことはできません。

[プログラムアクセス] セクションで [なし] が選択されていても、[すべてのプログラムの編集] のアクセス許可を持っているユーザはプログラムへのフルアクセス権をすでに 持っています。

- 5. [これらのセキュリティグループのみ]を選択した場合、次の手順を実行します。
  - a. [セキュリティグループ]の下で、[セキュリティグループの追加] をクリッ クします。

選択ウィンドウが開きます。

 b. セキュリティグループを選択するには、セキュリティグループの名前 を選択します。

選択ウィンドウが閉じ、[**セキュリティグループ**] セクションに選択した セキュリティグループの名前がリストされます。

[アクセスの設定] ページからリストされているセキュリティグループを削除するに は、名前の左側にある [削除] アイコンをクリックします。

別のセキュリティグループを追加するには、[**セキュリティグループの追加**] を再度クリックします。



- [コストとベネフィットアクセス] セクションは、そのプログラムに対してHP Financial Management が有効になっている場合に使用します。プログラム のコストデータに表示アクセス権をアサインするには、次のいずれかを選 択します。
  - なし
  - このプログラム内のすべてのコンテンツマネージャ
  - その他のすべてのプログラムマネージャ
  - すべてのプログラムマネージャ、およびこのプログラム内のプロジェクトマ ネージャ
  - これらのセキュリティグループのみ

デフォルトでは、プログラムマネージャはプログラムへのフルアクセス権を持っています。

- 7. [これらのセキュリティグループのみ]を選択した場合、次の手順を実行します。
  - a. [セキュリティグループ]の下で、[セキュリティグループの追加] をクリッ クします。

選択ウィンドウが開きます。

 b. セキュリティグループを選択するには、セキュリティグループの名前 を選択します。

選択ウィンドウが閉じ、[**セキュリティグループ**] セクションに選択した セキュリティグループの名前がリストされます。



別のセキュリティグループを追加するには、[セキュリティグループの追加] を再度クリックします。

8. 更新内容を保存し、[アクセスの設定] ページを閉じるには、[完了] をク リックします。

# プログラムの優先度の更新

時間が経って、ビジネス目標の中で達成したものと未達成のものができたら、 組織で進行中のプログラムの優先度を変更できます。優先度を変更すること で、利害関係者は最も重大な問題について高い可視性を維持できます。

組織のほかのプログラムに対する相対的な優先度を変更するには、次の手順 を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [プログラムの優先順 位付け] を選択します。

[プログラムの優先順位付け]ページが開き、既存のプログラムがリストされます。プログラムに優先度の値がアサインされている場合、このページには優先度の降順でプログラムがリストされます。

ブログラムの優先順位付け					保存
プログラム名	相対的優先度	プログラム マネージャ	プログラムのステータス	ビジネス目標	説明
test_program	1	Admin User	新規		
test_program2	2	Admin User	新規		
					保存

- 3. プログラム名の右側にある [相対的優先度] フィールドに、新しい優先度レベルを示す整数を入力します。
- 必要な場合、リストされているほかのプログラムの相対的優先度の値を変 更します。
- 5. [保存]をクリックします。

# プログラム参照の追加

本項では、プログラムに追加できる参照のタイプについて説明します。添付 ファイル、既存パッケージ、新規パッケージ、プロジェクト、既存リクエス ト、新規リクエスト、タスク、URLなどがあります。

### 参照としての添付ファイル

プログラム参照として、添付ファイルを指定できます。

添付ファイルを参照するには、次の手順を実行します。

1. プログラムを開きます。



- プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40ページ)を参照して ください。
- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- [新規参照] リストで [添付ファイル] (デフォルト) を選択したまま、[追加] をクリックします。

[ドキュメントの追加] ウィンドウが開きます。

ドキュメントの追加		
ファイル:		
作者:		
Admin User		
说9月:		
	0	
	*	
		追加 キャンセ

4. [**ファイル**] フィールドに、参照として追加するファイルの完全なパスを入力します。

添付ファイルはワークステーションからアクセス可能である必要があります。

5. [作者] フィールドに、添付ファイルの作者名を入力します。

- 6. [説明] フィールドに、添付ファイルに関する情報と参照する理由を入力します。
- 7. [追加]をクリックします。

指定したファイルがアップロードされます。[プログラムの概要]ページの [参照] セクションで、[保存時に追加される参照] フィールドにファイル名が 表示されます。

8. [保存]をクリックします。

### 参照としての既存パッケージ

プログラムに既存のパッケージを参照させることができます。 既存のパッケージを参照するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。
  - プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ)を参照して ください。
- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[パッケージ(既存)] を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[参照の追加:パッケージ]ウィンドウが開きます。

5. 検索基準を指定し、[検索]をクリックします。

参照の追加: バッケ	ージ					
*選択した バッケージ のつ ● このプログラム関連 - (1	<b>カログラム 番号 30020 にぶ</b> 情報) - 選択したパッケージ	<b>はするリレーションシ</b> ュ まプログラム 30020	<b>ップを選択:</b> に関連付けられ <sup>-</sup>	ています		
パッケージ検索結果					( 結果はありま	せん 🔊
バッケージ番号▼	ワークフロー	ステータス	優先度	アサイン先	パッケージ行	説明
結果が返されませんでした	。検索を <mark>変更</mark> してください。		,			
すべてチェック す	べてクリア				< ■結果はあり	ません 🔊
				追加	検索の変更	キャンセル

[参照の追加:パッケージ]ウィンドウに、検索基準に一致するリレーションシップタイプとパッケージがリストされます。

6. リレーションシップタイプとパッケージを選択し、[**追加**]をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、選択したパッケージがリストされます。

7. [保存] をクリックします。

#### 参照としての新規パッケージ

新規のパッケージをプログラム参照として追加できます。

新規パッケージを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。

プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40ページ)を参照して ください。

- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[パッケージ(新規)] を選択します。

4. [追加]をクリックします。

[新規パッケージの作成]ウィンドウが開きます。

リレーションシップ:		
● ニの一口グラム関連 - (情報)	避損 たバッケージオポログラム 3002015期連付けられて	1 \= d

5. リレーションシップを選択し、[作成]をクリックします。

[New パッケージ] ウィンドウが開きます。

- 6. パッケージ情報を入力し、[追加]をクリックします。
  - [保存時に追加される参照] セクションに、新規パッケージがリストされま す。パッケージの詳細については、『HP Deployment Management ユーザー ガイド』を参照してください。
- 7. プログラムにパッケージを添付するため、[保存]をクリックします。

# 参照としてのプロジェクト

既存のプロジェクトをプログラム参照として添付するには、次の手順を実行 します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。



- プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40ページ)を参照して ください。
- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[プロジェクト] を選択します。

4. [追加]をクリックします。

[参照の追加: プロジェクト] ウィンドウが開きます。

参照の追加:	ブロジェクト
--------	--------

表示するプロジェクトの検索					
プロジェケト名 (さち): プロジェケト タイブ: 計画開始日が次の日から: 計画時7日が次の日から: 終了したプロジェクトを含める:	  	1目 次の日まで: 次の日まで:	 プロジェクオ マネージャ: 3 9		<u>.</u>
<u> </u>			間違付けられたプログラム: 地域:		
ソート基準:	プロジェクト名	▶ ● 昇順	1 ページ当たりの表示結果数:	50	
					検索

5. 検索基準を指定し、[検索]をクリックします。

参照の追加: ブロジェクト

表示するプロジェクトの選択									
	プロジェクト名▲	<b>ステー</b> タス	プロジェクト マネージャ	プロジェクト番号	地域	プロジェクト タイプ	プロジェクトの開始 (期間)	プロジェクトの終了(期間	
0	test_project	計画中	Admin User	30123	Enterprise	企業	May 2013	June 2013	
0	test_project2	計画中	Admin User	30124	Enterprise	企業	August 2013	September 2013	
すべて	てを選択							< 1-2/2を表示	

- 6. プロジェクト参照として追加するプロジェクトを見つけて選択します。
- 7. [追加] をクリックします。
- 8. [保存時に追加される参照] セクションに、選択したプロジェクトがリストさ れます。
- 9. プログラムにプロジェクトを添付するため、[保存]をクリックします。

### 参照としての既存リクエスト

関連付けられているプロジェクトをプログラムにリンクせずに、プロジェクトリスク、スコープ変更、問題をプログラムに直接関連付けることができます。プログラム参照として添付したプロジェクトリクエストは、[プログラムの概要]ページの対応するセクション([問題]、[スコープ変更]、[リスク]の棒グラフ)に表示されます。プログラムヘルスに影響するのは、プログラムに直接リンクされているプロジェクトから送信されたものである場合のみです。

プログラムに既存リクエストを参照させるには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。



- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[リクエスト (既存)] を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] 検索ウィンドウが開きます。

5. 検索基準を指定し、[検索]をクリックします。

リクエスト検索結果									
	リクエスト番号 🔻	ሀ ታርጊት ቃ/ቻ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者		
	30128	プログラムの問題	sample2	新規	Admin User	高	Admin User		
自加済み	30127	プログラムの問題	sample	新規	Admin User	低	Admin User		
	30126	プロジェクトの問題	sample2	新規		高	Admin User		
	30125	ブロジェクトの問題	sample	新規		通常	Admin User		
自加済み	30122	プログラムの問題	sample	新規		通常	Admin User		

ウィンドウに、選択するリクエストとプログラムの関係を示すリレーショ ンシップタイプと、検索基準に一致するリクエストが表示されます。

6. リレーションシップタイプと参照として追加するリクエストを選択します。
7. [追加] をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、選択したリクエストがリストされ ます。

8. プログラムにリクエストを添付するため、[保存]をクリックします。

#### 参照としての新規リクエスト

プログラム参照として新規のリクエストを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboard からプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40ページ)を参照して ください。

- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[リクエスト(新規)] を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[新規リクエストの作成] ウィンドウが開きます。

新規リクエストの作成	
ባ/ፓር አት ያብታ:	
リレーションシップ:	
● このブログラム関連 - (情報) - 濯択したリクエストはブログラム 30020 に関連付けられています	
	作成 キャンセル

- 5. [リクエストタイプ] フィールドで、リクエストタイプを選択します。
- 6. [**リレーションシップ**] で、参照された新規リクエストとプログラムの関係 を示すリレーションシップオプションを選択します。
- 7. [作成] をクリックします。

[新規作成] ウィンドウが開きます。

8. リクエストを作成するために必要な情報を入力します。



[保存時に追加される参照] セクションに、新規リクエストがリストされます。

9. プログラムに新規リクエストを添付するため、[保存]をクリックします。

#### 参照としてのタスク

既存のタスクをプログラム参照として追加できます。 既存のタスクを参照させるには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。

プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40ページ)を参照して ください。

- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[タスク] を選択します。
- 4. [追加] をクリックします。

[参照の追加:タスク]検索ウィンドウが開きます。

5. 検索基準を指定し、[検索]をクリックします。

ウィンドウに、検索基準に一致するリレーションシップタイプとタスクが リストされます。

#### 参照の追加: タスク

通 ● こ	<b>Rした タスク (</b> のプログラム)	の null 番号 30 関連 - (情報) - :	020 Iご打するリレー 選択したタスクはプロ	<b>ションシップを選択:</b> Iグラム 30020 に関連付けられ	ています					
表	示するタスク	の選択							く 1-1/1を	表示 >
	9スク名 ▲	プロジェクト	プロジェクト パス	スケジュールされた開始日	スケジュールされた終了日	タスクステータス	リソース	例外インジケータ	達成率 (%)	
	test_project すべてを選択	test_project ह		May 1, 2013	May 1, 2013	計画中			0%	
									< 1-1/1 ই	表示 >
								追加	検索の変更	キャンセル

 ページの上部で、タスクとプログラムのリレーションシップタイプを選択 します。 7. [追加] をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、参照されるタスクが表示されます。

8. プログラムに参照を添付するため、[保存]をクリックします。

#### 参照としてのURL

プログラムに既存のURLを参照させることができます。

URLをプログラム参照として指定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。



- プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ)を参照して ください。
- 2. [参照] セクションまでスクロールします。
- 3. [新規参照] リストで、[URL] を選択します。
- 4. [**追加**] をクリックします。

[参照URL] ウィンドウが開きます。

参照 URL		
URL:	URL の表示	
脱明:		
	OK ++	) UUV

5. [**URL**] フィールドに、URLを入力します。

- 6. [説明] フィールドに、URL 情報を入力します。
- 7. [OK] をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、URL が表示されます。

8. プログラムに参照を添付するため、[保存]をクリックします。

# Microsoft Excel へのプログラムのエクスポート

[プログラムの概要] ページを Microsoft Excel ファイルにエクスポートするに は、次の手順を実行します。

- Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合、インターネットオプションが適切に設定されている必要があります。詳細については、 『スタートアップガイド』を参照してください。
- 2. エクスポートするプログラムを開きます。

プロジェクトを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ)を参照してください。

3. [プログラムの概要]ページで、[Microsoft Excel] アイコンをクリックします。

新しいウィンドウが開き、エクスポートが完了するまで設定された間隔で リフレッシュされます。

4. エクスポートしたExcelファイルを保存します。

[プログラムの概要] ページの右上隅にある [詳細] > [Excelにエクスポート] リンクをクリッ クすると、[コンテンツ] セクションに表示されている列のみが、その表示順序でExcelにエク スポートされます。つまり、Microsoft Excel ファイルには、表示するように選択した列と列の レイアウトに対する変更が反映されます。

# 第5章 プログラムの管理

# HP Program Managementの管理の概要

プログラムの有効期間中には、次のようにさまざまなことが起こります。

- リスクが増大する
- プログラムのプロジェクトスコープが変更される
- 問題が発生する
- 関連付けられているプロジェクトがまとめて終了、停止、キャンセルされる
- ビジネス目標が変更される、または古くなる
- 参照が無効になる、または何らかの変更が加えられる

HP Program Managementでは、これらのイベントは次のとおり分類されます。

- プログラムおよびプロジェクトの問題
- リスク
- スコープの変更

本章では、プログラムや影響を及ぼすイベントの管理方法について説明します。



問題により、プログラムの有効期間中に発生した懸案事項を、トラッキング とレポートが可能なリクエストを使用して特定および解決できます。プログ ラムについて問題を直接送信するか、プログラムにリンクされているプロ ジェクトについて送信した問題をエスカレーションすることができます。こ のようにすることで、プロジェクトマネージャはプロジェクトレベルの問題 に対応し、プログラムレベルでの対応が必要な問題のみをエスカレーション することができます。

本項では、HP Program Managementでプログラムおよびプロジェクトの問題を トラッキングおよび分析する方法について説明します。問題を送信する方法 については、「プログラムの問題の送信」(22ページ)を参照してください。

### プログラムの問題の検索

プログラムの問題を検索するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[プログラムの問題]を選択します。

[リクエストの検索]ページが開きます。[リクエストタイプ] リストで「プ ログラムの問題」が選択されています。

3. リクエストの検索基準を入力し、「検索」をクリックします。

[**リクエスト検索結果**] セクションに、検索基準に一致するプログラムの問 題がリストされます。

Ex Ex	e Excellにエクスポート 検索の支更						
次の名	前でこの検索を保存:	保存					保存済み検索の管理
リク	Lスト検索結果						< 1-3/3を表示 >
	リクエスト番号 ▼	リクエスト タイプ	脱明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者
	30128	プログラムの問題	sample2	新規	Admin User	高	Admin User
	30127	プログラムの問題	sample	新規	Admin User	低	Admin User
	30122	プログラムの問題	sample	新規		通常	Admin User
すべ	<b>てチェック</b> すべてクリア 編	ŧ ▼ )					< 1-3/3を表示 >

🖻 Excelicエクスポート

検索の変更

4. [**リクエスト番号**] カラムのエントリをクリックし、対応するプログラムの 問題リクエストを開きます。

プログラムの問題 30122 - sample				ステータス:新規
1日のレビューとアサイン				
アサイン レビュー 保留中	キャンセル			保存コピー 詳細
「べて展開する」すべて折りたたむ				
- サマリ				
問題番号:	問題ステー	97:		
30122	新規			
作成者:	作成日時:			
Admin User	April 8, 20	3		
・プログラム:				
test_program				
* <b>慢</b> 无度:	/サイン先		• 📼	
286 	×		<b>a</b> 🖼	
sample				
- 問題の詳細				
*特定日:			期日:	
April 8, 2013		19		1 and
問題タイプ:				
		V		
#¥和な#見明:				
				^
				~
提案された解決:				
				~
				$\sim$
ビジネス機能:				
				~
				~
◆ メモ (メモが存在しません)				
★ ステータス				
+ 参照 1 参照が存在します				

[プログラムの問題]ページが開きます。

5. 必要に応じて、[プログラムの問題] ページのフィールドの値を編集し、[**保 存**] をクリックします。

### プロジェクトの問題の検索

プロジェクトの問題を検索するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[プロジェクトの問題]を選択します。

[リクエストの検索]ページが開きます。[リクエストタイプ] リストで「プ ロジェクトの問題」がすでに選択されています。

3. リクエストの検索基準を入力し、[検索]をクリックします。

[**リクエスト検索結果**] セクションに、検索基準に一致するプロジェクトの 問題がリストされます。

🖻 Ex	■ Excellにエクスポート 検索の変更						
次の名	前でこの検索を保存:	保存					保存済み検索の管理
リク:	エスト検索結果						《 1-2/2を表示 》
	リクエスト番号 🔻	ሀኃェスト タイプ	説明	ステータス	7サイン先	優先度	作成者
	30126	プロジェクトの問題	sample2	新規		高	Admin User
	30125	プロジェクトの問題	sample	新規		通常	Admin User
すべ	<b>すべてチェック</b> [すべてクリア] [編集 ▼ ] (前除) (1-2/2を表示 )						
📄 Ex	cel ICエクスポート						検索の変更

4. リストされているプロジェクトの問題を開くには、[**リクエスト番号**] カラ ムでリクエスト番号をクリックします。

プロジェクトの問題 30132 - Deploy to alpha test starts			ステータス:新規
問題のレビューとアサイン			
アサイン レビュー 保留中 キャンセル			保存コピー詳細
すべて展開する」すべて折りたたむ			
- サマリ			
問題番号:	問題ステータス:		
30132	新規		
作成者:	作成日時:	ፖታብንት:	
Admin User	2013/04/10	Admin User	& 🖪
プロジェクト:			
test			
·優先度:	*エスカレーション レベル:		
低.	プロジェクト		
*説明:			
Deploy to alpha test starts			
<ul> <li>- 門時前の #¥%四</li> </ul>			
NINE YO DIVE			
*特定日:	期日:		
2013/04/10			<b></b>
	×		
5+++++++++++++++++++++++++++++++++++++			
			0
			~
提案された解決:			
			~
			$\sim$
ビジネス機能:			
			~
			~
◆ メモ (メモが存在しません)			
+ ステータス			
<ul> <li>参照1参照が存在します</li> </ul>			

[プロジェクトの問題]ページが開きます。

5. 必要な変更を行い、[保存]をクリックします。

### 問題アクティビティの分析

HP Program Managementでは、問題アクティビティのグラフで、指定した期間の毎月(または毎週)の問題の作成数と解決数を確認できます。

問題アクティビティを表示するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[問題]>[問題アクティ ビティの分析] を選択します。

[問題アクティビティ:作成と解決の時間変化]ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	[説明]
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([ <b>問題</b> ]) のま まにします。
プログラム名	問題解決情報を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	(エスカレーションされた)問題の情報を表示するために選択 したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[ <b>プ</b> ロジェクト]フィールドを空白にすると、そのプログラムに リンクされているすべてのプロジェクトからプログラムレベ ルにエスカレーションされた問題の問題解決時間の情報が表 示されます。
解決日が次の日か ら / 次の値まで	問題解決情報を表示する日付範囲。
期間	問題解決情報を表示するために使用する時間単位。[ <b>月</b> ](デ フォルトの選択)または [ <b>週</b> ]を選択します。

#### 4. [適用]をクリックします。

[問題アクティビティ:作成と解決の時間変化]ページに結果が表示されます。



### このページのグラフに、指定したプログラムと日付範囲を対象として、プ ログラムレベルにエスカレーションされたプログラムの問題およびプロ ジェクトの問題の作成数および解決数が示されます。

#### 第5章

#### 問題解決時間の分析

HP Program Managementのグラフで、送信された問題 (プログラムレベルにエ スカレーションされたプログラムの問題およびプロジェクトの問題)の解決 にどれくらい時間がかかったかを確認できます。

問題解決時間を分析するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[問題]>[問題解決時 間の分析]を選択します。

[問題解決:平均解決時間]ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	[説明]
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([ <b>問題</b> ]) のま まにします。
プログラム名	問題解決情報を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	(エスカレーションされた)問題の情報を表示するために選択 したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[ <b>プ</b> ロジェクト]フィールドを空白にすると、そのプログラムに リンクされているすべてのプロジェクトからプログラムレベ ルにエスカレーションされた問題の問題解決時間の情報が表 示されます。
解決日が次の日か ら / 次の値まで	問題解決情報を表示する日付範囲。問題リクエストの送信時刻 は、問題解決時間の計算に使用されます。
期間	問題解決情報を表示するために使用する時間単位。[ <b>月</b> ](デ フォルトの選択)または[ <b>週</b> ]を選択します。

4. [適用] をクリックします。

HP Program Management のグラフに、指定した期間を対象として、解決された問題の解決に要した平均日数が表示されます。ここには、プログラムレベルにエスカレーションされたプログラムの問題およびプロジェクトの問題が含まれます。

### リスクの管理

プロジェクトおよびプログラムリスクにより、トラッキングとレポートが可 能なリクエストを使用してリスクを特定および解決できます。リスクをエス カレーションすることで、プロジェクトがリンクされているプログラムでそ のリスクを表示できるようになります。

本項では、リスクを検索し、リスクアクティビティおよびリスク解決を表示 する方法について説明します。リスクリクエストを送信する方法については、 「プログラムレベルのリスクの送信」(29ページ)および「プロジェクトリスク の送信」(32ページ)を参照してください。

#### プロジェクトリスクの検索

プロジェクトリスクを検索するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[プロジェクトリスク]を選択します。
  - [リクエストの検索]ページが開きます。[表示するリクエストの検索]の下の [リクエストタイプ]フィールドで、[プロジェクトリスク]が選択されています。
- 3. [表示するリクエストの検索] セクションで、リクエストの検索基準を指定し ます。
- 検索結果の表示を設定するには、[列の選択] セクションで [利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドの間で項目を移動します。

5. [検索]をクリックします。

[**リクエスト検索結果**] セクションに、検索基準に一致するプロジェクトリ スクがリストされます。

:の名前でこの検索を保	存:	保存	ſ	¥存済み検索の管
リクエスト検索結果			< 1-	50 / 145 を表示
リクエスト番号 🔻	リクエスト タイプ	說明	部署	作成者
34187	Project Risk	Schedule might be delayed becaused passed requirements are too little.		Admin User
34186	Project Risk	Certificado no es valido		Admin User
33111	Project Risk	Inclusion of new corporate acquisition could delay project release		Joseph Banks
33110	Project Risk	Likely cost overrun due to scope change		Joseph Banks
33109	Project Risk	Delay of dependent project's release date.		Joseph Banks
33108	Project Risk	Poor communications between business units making standardization difficult		Joseph Banks
33107	Project Risk	Resource risk - few candidates with proper skill mix.		Joseph Banks
33106	Project Risk	New Corporate Acquisition may impact requirements		Joseph Banks
すべてチェック すべ	ペてクリア   編集 ▼		< 1	- 50 / 145 を表示

6. プロジェクトリスクリクエストを開くには、[**リクエスト番号**] カラムでリ クエスト番号をクリックします。

[プロジェクトリスク]ページが開きます。

		chijed bebudbed pubbed requ			
て展開する」すべて折りたたむ					
+					
リスク番号:		リスク ステータス:			
34187		ял <i>э</i> н.			
作成者:		作成日時:		アサイン先:	
Admin User		2013/04/19			<b>a</b> 14
VBO Domo project					
W & Demo project				T Abde.	
優九度: 		Madium		- 4) RE EE:	
·=888.	<u> </u>	Medidini	×	Entery (41-00 Xa)	×
Schedule might be delayed becau	sed passed requirer	ments are too little			
Concoure might be delayed becau	seu passeu requirer	nenta are too nate.			
リスクの詳細					
リスク タイプ:		•	待定日:		
		~	November 8, 2012		nº
  詳細な説明:		V	November 8, 2012		r de la companya de l
詳細な説明:		Y	November 8, 2012		1 1 1
		V	November 8, 2012		₽
  詳細な説明: 		V	November 8, 2012		€ ^ ~
詳細な説明: 詳細な説明: クローズ基準:			November 8, 2012		k₽ ^ ~
詳細な説明:       クローズ基準:			November 8, 2012		¢
  計細な説明:     クローズ基準:			November 8, 2012		~ ~ ~ ~
詳細な説明: グローズ基準: アゲッコン計画:		V	November 8, 2012		
詳細な説明: クローズ基準: アクジョン計画:			November 8, 2012		¢
詳細な説明:       グローズ基準:       アグション計画:			November 8, 2012		
詳細な説明: グローズ基準: アグション計画:			November 8, 2012		
詳細な説明:       クローズ基準:       アクション計画:			November 8, 2012		
詳細な説明:       グローズ基準:       アウション計画:			November 8, 2012		
詳細な説明:       グローズ基準:       アグション計画:       ノレーズ表演:			November 8, 2012		
評細な説明:       クローズ基準:       アクション計画:       メモ       - メモの追加			November 8, 2012		
評価な説明:           グローズ基準:           アクション計画:           ノモ           ・メモの追加           (採存時に追加されるッモ:			November 8, 2012		
評価な説明: クローズ基準: アクション計画: メモ			November 8, 2012		
評細な説明:       クローズ基準:       アウション計画:       ノモ       イモ       ノモの適加 (保存時に追加されるメモ:)			November 8, 2012		
評価な説明:           プローズ基準:           アクション計画:           パモ           ノモ           ・メモの追加           (採行時に追加されるッモ:			November 8, 2012		
評価な説明:       クローズ基準:       アクション計画:       メモ       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・			November 8, 2012		

7. プロジェクトリスクリクエストに必要な変更を行い、[保存]をクリックします。

#### プログラムリスクの検索

プログラムリスクを検索するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[検索]>[プログラムリスク]を選択します。

[リクエストの検索]ページが開きます。[表示するリクエストの検索]の下の [リクエストタイプ]フィールドで、[プログラムリスク]が選択されています。

- 3. [表示するリクエストの検索] セクションで、リクエストの検索基準を指定し ます。
- 4. 検索結果の表示を設定するには、[**列の選択**] セクションで [**利用できる列**] フィールドと [**選択した列**] フィールドの間で項目を移動します。
- 5. [検索]をクリックします。

[**リクエスト検索結果**] セクションに、検索基準に一致するプログラムリス クがリストされます。

 プログラムリスクリクエストを開くには、[リクエスト番号] カラムでリク エスト番号をクリックします。

[プログラムリスク]ページが開きます。

7. プログラムリスクリクエストに必要な変更を行い、[保存] をクリックします。

#### リスクアクティビティの分析

リスクアクティビティを分析するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[リスク]>[リスクア クティビティの分析] を選択します。

[リスクアクティビティ:作成と解決の時間変化]ページが開きます。[**表示**] リストで、[**リスク**]が選択されています。

3. 次の情報を入力します。

フィールド名	[説明]
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([ <b>リスク</b> ]) の ままにします。
プログラム名	リスクアクティビティを表示するプログラムの名前。
プロジェクト	(エスカレーションされた) リスクアクティビティを表示する ために選択したプログラムにリンクされているプロジェクト の名前。[ <b>プロジェクト</b> ] フィールドを空白にすると、そのプ ログラムにリンクされているすべてのプロジェクトのすべて のリスクのアクティビティ情報が表示されます。
解決日が次の日か ら / 次の値まで	リスクアクティビティを表示する日付範囲。
期間	リスクアクティビティを表示するために使用する時間単位。 [ <b>月</b> ] (デフォルトの選択) または [ <b>週</b> ] を選択します。

4. [適用] をクリックします。

HP Program Management のグラフに、指定したプログラムと日付範囲を対象として、リスクの作成数および解決数が示されます。

5. グラフに表示されている情報を変更するには、[フィルタ基準] セクション で情報を変更して [適用] をクリックします。

### リスク解決時間の分析

HP Program Managementを使って、プログラムに関連付けられているリスクの 解決にどれくらい時間がかかったを評価できます。

解決時間を分析するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[リスク]>[リスク解 決時間の分析] を選択します。

[リスク解決:平均解決時間]ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	[説明]
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([ <b>リスク</b> ]) の ままにします。
プログラム名	リスク解決時間を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	リスク解決情報を表示するために選択したプログラムにリン クされているプロジェクトの名前。[ <b>プロジェクト</b> ]フィール ドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべて のプロジェクトのすべてのリスクの解決情報が表示されます。
解決日が次の日か ら / 次の値まで	リスク解決情報を表示する日付範囲。
期間	リスク解決時間を表示するために使用する時間単位。[ <b>月</b> ](デ フォルトの選択)または [ <b>週</b> ]を選択します。

4. [適用] をクリックします。

[リスク解決:平均解決時間]ページのグラフに、指定した期間を対象として、解決されたリスクの解決に要した平均日数が表示されます。

5. グラフの表示内容を変更するには、[フィルタ基準] セクションで情報を変 更して [適用] をクリックします。

# スコープ変更の管理

プロジェクトの有効期間中に発生したイベントによって、プロジェクトのス コープが変更されることがあります。プロジェクトのスコープの変更は、そ のプロジェクトが関連付けられているプログラムのスコープに影響します。 プロジェクトのスコープ変更リクエストを通じて、これらの変更の表示と処 理のほか、変更に基づく意思決定を行うことができます。これらのスコープ 変更リクエストの表示と監視には、HP Program Managementを使用します。

#### スコープ変更の検索

プロジェクトのスコープ変更を検索するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[スコープ変更]>[ス コープ変更の検索] を選択します。

[リクエストの検索]ページが開きます。[リクエストタイプ] リストフィー ルドに、「プロジェクトのスコープ変更リクエスト」という値が表示されます。

- 3. [表示するリクエストの検索] セクションで、リクエストの検索基準を指定し ます。
- 検索結果の表示を設定するには、[列の選択] セクションで [利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドの間で項目を移動します。

5. [検索]をクリックします。

すべてのプロジェクトのスコープ変更リクエストをリストするには、検索基準を指定せず に[**検索**]をクリックします。

[**リクエスト検索結果**] セクションに、検索基準に一致するプロジェクトの スコープ変更リクエストがリストされます。

📄 Excelicエクスポート						検索の変更				
	保存					保存済み検索の管理				
リクエスト検索結果	リクエスト検索結果 (1-1/1を表示)									
リクエスト番号 マ	リクエスト タイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者				
30129	プロジェクトのスコーブ変更リクエスト	sample	新規			Admin User				
<b>রুশ্বেরুড়ের</b> রিশ্বের্সা	- すべてチェック 「すべてクリア」 編集 * ) 「 部際 (1・1/1を表示 )									
📄 Excel にエクスポート						検索の変更				

6. リストされているプロジェクトのスコープ変更リクエストを開くには、[**リ クエスト番号**] カラムでリクエスト番号をクリックします。

[プロジェクトのスコープ変更リクエスト]ページが開きます。

ブロジェクトのスコープ変更リクエスト 30129 - s	ample			ステータス:新規
CR の特定と文 完了				日 □ F 保存 元 → 詳細
すべて展開する」すべて折りたたむ				
<b>/</b> ー サマリ				
スコープ変更番号:	スコープ変更ステータス:			
30129	奉斤規			
作成者:	作成日時:		アサイン先:	
Admin User	April 8, 2013			â 🔯
*プロジェクト:				
test_project				
優先度:	*CR レベル:		ゼジネスインバクトの重	要度:
V	レベル 1	<b>~</b>	<b>中</b>	V
*=====================================				
sample				
+ スコーブ変更の詳細				
◆ メモ (メモが存在しません)				
+ ステータス				
+ 参照1参照が存在します				

7. 必要な変更を行い、[保存]をクリックします。

#### スコープ変更アクティビティの分析

プロジェクトのスコープ変更アクティビティを分析するには、次の手順を実 行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [スコープ変更] > [ス コープ変更アクティビティの分析] を選択します。

[スコープ変更アクティビティ:作成と解決の時間変化]ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	[説明]
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([ <b>スコープ変</b> <b>更</b> ]) のままにします。
プログラム名	プロジェクトのスコープ変更リクエストのアクティビティを 表示するプログラムの名前。
プロジェクト	スコープ変更リクエストのアクティビティを表示するために 選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。 [ <b>プロジェクト</b> ]フィールドを空白にすると、そのプログラム にリンクされているすべてのプロジェクトのすべてのスコー プ変更リクエストのアクティビティ情報が表示されます。
解決日が次の日か ら / 次の値まで	スコープ変更リクエストのアクティビティ情報を表示する日 付範囲。
期間	スコープ変更リクエストのアクティビティを表示するために 使用する時間単位。[ <b>月</b> ] (デフォルトの選択) または [ <b>週</b> ] を選 択します。

#### 4. [適用]をクリックします。

HP Program Managementのグラフに、指定した期間の毎月(または毎週)の プロジェクトのスコープ変更の作成数と解決数が表示されます。



5. グラフの表示内容を変更するには、[フィルタ基準] セクションで情報を変 更して[適用] をクリックします。

#### スコープ変更解決時間の分析

HP Program Managementを使って、プログラムに関連付けられているプロジェ クトのスコープ変更リクエストの解決にどれくらい時間がかかったを評価で きます。

プロジェクトのスコープ変更解決時間を表示するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[スコープ変更]>[ス コープ変更解決時間の分析] を選択します。

[スコープ変更解決:平均解決時間]ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	[説明]
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([ <b>スコープ変</b> <b>更</b> ]) のままにします。
プログラム名	プロジェクトのスコープ変更リクエストの解決時間を表示す るプログラムの名前。
プロジェクト	スコープ変更リクエストの解決時間を表示するために選択し たプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[ <b>プロ</b> ジェクト]フィールドを空白にすると、そのプログラムにリ ンクされているすべてのプロジェクトのすべてのスコープ変 更リクエストの解決時間が表示されます。
解決日が次の日か ら / 次の値まで	平均解決時間を表示する日付範囲。
期間	スコープ変更リクエストの解決時間を表示するために使用す る時間単位。[ <b>月</b> ] (デフォルトの選択) または [ <b>週</b> ] を選択し ます。

4. [適用] をクリックします。

HP Program Management のグラフに、指定したプログラムと期間を対象として、解決されたプロジェクトのスコープ変更の解決に要した平均日数が表示されます。

5. グラフに表示されているデータを変更するには、[フィルタ基準] セクショ ンで情報を変更して [適用] をクリックします。

## プログラムプロセスの管理

プログラムプロセスの管理とは、プログラムの問題、リスク、スコープ変更 リクエストタイプに関連付けられているワークフローに変更を加えることを 指します。あるプログラムのプログラムプロセスを変更すると、すべてのプ ログラムのプロセスが変わります。そのため、特にワークフローがリクエス トタイプによって使用中である場合に、問題が生じることがあります。

#### 問題プロセスの管理

PPM Workbenchを使って、エスカレーションされたプロジェクトの問題およ びプログラムの問題に適用されているプロセスを管理できます。

プログラムの問題プロセスを管理するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[管理]>[プログラムプロセス]>[問題プロセス の管理]を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフ ロー:問題管理プロセス]ウィンドウが開きます。

- 3. [ワークフロー:問題管理プロセス] ウィンドウのタブを使って、プログラ ムの問題のワークフロー、レイアウト、使用できるリクエストタイプ、セ キュリティに必要な変更を加えます。
- 4. [OK] をクリックします。[ワークフロー: 問題管理プロセス] ウィンドウが 閉じます。
- 5. PPM Workbench を終了します。

#### プロジェクトリスクプロセスの管理

プログラムにリンクされているプロジェクトについて送信済みのリスクに適 用されているプロセスを管理するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. メニューバーから、[**開く**]>[**管理**]>[**プログラムプロセス**]>[**プロジェクト** リスクプロセスの管理]を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフ ロー:リスク管理プロセス]ウィンドウが開きます。

- [ワークフロー:リスク管理プロセス]ウィンドウのタブを使って、ワーク フロー、ワークフローステップ、レイアウト、使用できるリクエストタイ プ、セキュリティに必要な変更を加えます。
- [OK] をクリックします。[ワークフロー: リスク管理プロセス] ウィンドウ が閉じます。
- 5. PPM Workbenchを終了します。

#### プログラムリスクプロセスの管理

プログラムについて送信済みのリスクに適用されているプロセスを管理する には、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[管理]>[プログラムプロセス]>[プログラムリ スクプロセスの管理]を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフ ロー:プログラムリスク管理プロセス]ウィンドウが開きます。

- [ワークフロー: プログラムリスク管理プロセス] ウィンドウのタブを使って、ワークフロー、ワークフローステップ、レイアウト、使用できるリクエストタイプ、セキュリティに必要な変更を加えます。
- 4. [OK] をクリックします。[ワークフロー: プログラムリスク管理プロセス] ウィンドウが閉じます。
- 5. PPM Workbench を終了します。

#### スコープ変更プロセスの管理

PPM Workbenchを使って、プロジェクトのスコープ変更リクエストに適用されているプロセスを管理できます。

プログラムのスコープ変更プロセスを管理するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[開く]>[管理]>[プログラムプロセス]>[スコープ変更 プロセスの管理]を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフ ロー:スコープ変更リクエストプロセス]ウィンドウが開きます。

- [ワークフロー:スコープ変更リクエストプロセス]ウィンドウで、ワーク フロー、ワークフローステップ、レイアウト、使用できるリクエストタイ プ、セキュリティに必要な変更を加えます。
- [OK] をクリックします。[ワークフロー:スコープ変更リクエストプロセス] ウィンドウが閉じます。
- 5. PPM Workbench を終了します。



# [プログラムマネージャ]ページの概要

HP Program Managementには、事前設定済みの [プログラムマネージャ]ページがあります。[プログラムマネージャ]ページには、ページでのポートレットの設定によって、1つ以上のプログラムが表示されます。複数の [プログラムマネージャ]ページに複数のプログラムが表示されるように設定することもできます。図 6-1に [プログラムマネージャ]ページを示します。

#### 図 6-1. [プログラムマネージャ]ページ

プログラムリ	ا <u>کا</u>									0	2
プログラムネ	3	相对的優先度	プログラム マネージャ		プログラムのステータン	( 問題	0	リス	ク	スコー	ブ変リ
Black Diamo	ond Initiative		Carolyn Sayer		活动	<u> </u>	7		14	<u> </u>	12
Enterprise E	lusiness Applications	3	Carolyn Sayer		新	0	0	۲	0	0	0
Partner Prog	gram	2	Carolyn Sayer		活动	0	11		12	0	3
One World		1	Carolyn Sayer		活动	0	10		15		12
Excella	エクスポート		K	1 - 4 / 4 を表示   >	н						
プログラムコ	レテンツリスト									0	2 =
リクエスト ID	*	名前		タイプ	7	テータス					
306:	30	Web for One We	orld	Project	详细	田项目分	۲X.				
306	32	APO - Pilot		Project	Co	nstruct					
317	36	Marketing WebF	Portal V2	Project	Co	nstruct					
329	39	Customer Dyna	mics	Proposal	ITS	C 审查					
329	92	Operational Inte	lligence	Proposal	ITS	C 审查					
<u> </u>	77	Global Control F	hase 1	Project	Co	nstruct					
331	36	Transaction Mar	nagement	Asset	准行	昏好进行	审查				
331	37	Sparta System		Asset	准行	昏好进行	审查				
Excelle:	エクスポート		К	1 - 8 / 8を表示   >	н						
問題リスト										0	1
このボートレ	ットのプリファレンスを編集してください。										
プログラムの	スコープ変更リスト									0 1	2 -
このボートレ	ットのブリファレンスを編集してください。										
プログラムリ	スクリスト									0	2

# PPM Dashboardへの [プログラムマネージャ]ページの追加

PPM Dashboardに事前設定済みの [プログラムマネージャ]ページを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- メニューバーから、[ダッシュボード]>[ダッシュボードのパーソナライズ]を 選択します。

[ページの管理]ページが開きます。

- 3. メニューバーの右側の領域で[非公開のページ]をクリックします。
- 4. [追加] アイコンをクリックします。
- 5. [**事前設定ページの追加**]を選択します。

使用可能な事前設定済みのPPM Dashboardのページのリストが表示されます。

6. [プログラムマネージャ]ページを選択し、[OK] をクリックします。

ページが PPM Dashboard に追加されます。

7. 必要に応じて、[プログラムマネージャ] ページとポートレットをカスタ マイズします。

PPM Dashboard に加えた変更は、自動的に保存されます。

# [プログラムマネージャ]ページのポートレット

本項では、[プログラムマネージャ]ページに表示されるデフォルトのポート レットについて説明します。これらのポートレットをパーソナライズする方 法については、「ポートレットのカスタマイズ」(108ページ)を参照してくだ さい。

### プログラムリストポートレット

プログラムリストポートレット(図 6-2)により、システム内のすべてのプログ ラムの詳細の高レベルのサマリが提供されます。プログラムの優先度、ステー タス、関連付けられている問題などの一般情報が表示されます。このポート レットをパーソナライズして、プログラム名やプロジェクト関連の基準に基 づいてフィルタを実行したり、ユーザが関係のあるデータに集中できるよう にしたりすることができます。

#### 図 6-2. プログラムリストポートレット

プログラムリスト								© 7	
プログラム名	相讨的優先度	プログラム マネージャ	プログラムのステータス	問題		リスク		スコープ変	
Black Diamond Initiative		Carolyn Sayer	新規	<u></u>	7	<u></u>	14	<u> </u>	12
Enterprise Business Applications	3	Carolyn Sayer	新規	۲	0	۲	0	0	0
Partner Program	2	Carolyn Sayer	新規	۲	11		12	0	3
One World	1	Carolyn Sayer	新規	0	10		15		12
■ Excellこエクスポート		く 1-4/4 巻表示	к						



リストされているプログラムを表示するには、[**プログラム名**]カラムで項目をクリックします。

プログラムリストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールド の説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [**ヘルプ**] アイコンをク リックします。

#### プログラムコンテンツリストポートレット

プログラムコンテンツリストポートレット(図 6-3)では、プログラムに関連付けられているすべてのプロジェクトと、それぞれのヘルスインジケータを表示できます。このポートレットには、さまざまなプログラムとそれぞれに関連付けられているプロジェクトを表示するための複数のインスタンスが存在できます。プロジェクト名、ステータス、ヘルスなど、指定した多くの基準に基づき、ポートレットで表示されるプロジェクトを選択できます。[名前]カラムのエントリをクリックすると、[プロジェクト]ページにドリルダウンできます。

プロヴ	ラムコンテンツリスト				0	2	-
リクエ	ZFID▲	名前		タイプ			
0	30630	Web for One World		Project			
	30632	APO - Pilot		Project			
0	31786	Marketing WebPortal V2		Project			
	32989	Customer Dynamics		Proposal			
	32992	Operational Intelligence		Proposal			
<u> </u>	33077	Global Control Phase 1		Project			
	33136	Transaction Management		Asset			
	33137	Sparta System		Asset			
E E	<pre>cellこエクスポート</pre>		K K	1-8/8を表示 > >			

図 6-3. プログラムコンテンツリストポートレット

プログラムコンテンツリストポートレット用に構成できるすべてのフィルタ フィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [**ヘルプ**] ア イコンをクリックします。

#### 問題リストポートレット

問題リストポートレット(図 6-4)では、選択したプログラムに直接関連付けられているすべての問題がリストされます。1ページにこのポートレットの複数のインスタンスを表示し、複数のプログラムとそれぞれに関連付けられている問題を同時に確認できます。

問題リストポートレットをパーソナライズして、プログラムのステータス、優先度、エスカレーションレベルなどの特定の基準に基づいて問題を表示できます。個々のプロジェクトの情報を表示するには、[**プロジェクト**]カラムでプロジェクトをクリックします。

#### 図 6-4. 問題リストポートレット

問題リスト					0 🖬 🗖
プロジェ <b>外</b> ▲	問題番号	優先度	エスカレーション レベル	ステータス	説明
APO - Pilot	30317	High	Project	新規	Patch release expected two weeks before GA
Excellこエクスポート			<li> <li> <li> <li> <li> <li> <li> <li></li></li></li></li></li></li></li></li>	K K	

問題リストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明 を表示するには、ポートレットの右上隅にある [**ヘルプ**] アイコンをクリック します。

#### プログラムのスコープ変更リストポートレット

プログラムのスコープ変更リストポートレットでは、特定のプログラムに関連付けられているすべてのスコープ変更がリストされます(図 6-5)。1ページ にこのポートレットの複数のインスタンスを表示し、複数のプログラムとそ れぞれに関連付けられているスコープ変更を同時に確認できます。

プログラムのスコープ変更リストポートレットをカスタマイズして、ステー タス、重要度、変更リクエストレベルなどに基づいてスコープ変更を表示で きます。個々のプロジェクトの情報を表示するには、[**プロジェクト**]カラムで プロジェクトをクリックします。

図 6-5. プログラムのスコープ変更リストポートレット

プログラムのスコープ変更リスト					@ 🖬 🗖
プロジェクト▲	スコープ変更番号	重要度	変更リクエスト レベ	ルステータス	武明
APO - Pilot	30438	Medium	Level 1	新	Please add this report
APO - Pilot	30439	High	Level 2	新	PeopleSoft upgrade requires additional interfaces
Web for One World	30419	High	Level 2	新	User won't signoff
Web for One World	30418	Critical	Level 1	新	Screen layout change
Web for One World	30412	Low	Level 2	新	Add wireless access to Siebel Sales
■ Excellこエクスポート			く く 1-5/7を表示	K K	

プログラムのスコープ変更リストポートレット用に構成できるすべてのフィル タフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [**ヘルプ**] アイコンをクリックします。

### プログラムリスクリストポートレット

プログラムリスクリストポートレット(図 6-6)では、選択したプログラムに関 連付けられているすべてのリスクがリストされます。1ページにこのポート レットの複数のインスタンスを表示し、複数のプログラムとそれぞれに関連 付けられているリスクを同時に確認できます。

プログラムリスクリストポートレットをパーソナライズして、ステータス、重 要度、確率などに基づいてリスクを表示できます。

[**プロジェクト**] カラムのエントリをクリックすると、[プロジェクト] ページに ドリルダウンできます。

#### 図 6-6. プログラムリスクリストポートレット

ブロジェクト 🔺	リスク番号	確率	インパクト レベル	ステータス	説明			
	30144	高 [26-100%]	レベル 3	オープン	LQA用「プログラムリスク」			
Excellこエクスポート		K < 1-1/1	1を表示 🔉 渊					

プログラムリスクリストポートレット用に構成できるすべてのフィルタ フィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [**ヘルプ**] ア イコンをクリックします。

#### プログラムコストサマリポートレット

プログラムコストサマリポートレット(図 6-7)では、プログラムのコンテンツ のロールアップ済みコストに基づき、プログラムコストのヘルスの概要が表 示されます。人件費および非人件費の内訳、ベースラインに対する合計コス ト、予測コストと実績コストが図に示されます。

プログラムコストサマリポートレットには、[**プログラム名**]というフィルタ フィールドのみがあります。

このポートレットでデータを表示するには、HP Financial Managementを有効化し、財務サマ リがアクティブになっている必要があります。プロジェクトの財務サマリがアクティブではな い場合、そのプロジェクトの作業計画のコスト情報が使用されます。



図 6-7. プログラムコストサマリポートレット

[アーンドバリューの詳細] をクリックして、プログラムの [EV分析] タブを開き ます。[EV分析] タブでは、SPIやCPIなどのコストデータをプログラム内のプ ロジェクト全体で比較できます。コストデータおよび公式の詳細については、 『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

### ポートレットのカスタマイズ

ポートレットが表示するデータのほか、データの表示方法をある程度変更できます。

ポートレットをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1. PPM Center にログオンします。
- 2. カスタマイズするポートレットが表示されている PPM Dashboard ページを 開きます。
- 3. ポートレットの右上隅にある[編集]アイコンをクリックします。

[プリファレンスの編集]ページが開きます。

- ページに表示されるポートレットのタイトルを変更するには、次の手順を 実行します。
  - a. ページの上部にある [タイトルを変更] をクリックします。

[ポートレットタイトルの編集] ウィンドウが開きます。

- b. [タイトル] フィールドで現在のタイトルを選択し、新しいタイトルを 入力します。
- c. タイトルを保存するには、[変更]をクリックします。
- 5. [プリファレンス] セクションと [表示列の選択] セクションで、必要な変更 を行います。
- [プリファレンス] セクションでコントロールの説明を表示するには、ポートレットに戻り、右上隅にある [ヘルプ] アイコンをクリックします。

**6.** [**完了**] をクリックします。

ポートレットに変更が反映されます。

ポートレットの使用の詳細については、『ポートレットとモジュールの作成』 を参照してください。


# F

Financial Management プログラム設定, 50

#### Μ

Microsoft Excel プログラムをエクスポート, 76

#### Ρ

Portfolio Management プログラム設定, **51** 

Program Management 概要, 10 ビジネス目標, 17 メニューバー, 12

## U

URL プログラムからの参照,75

### あ

アクセス プログラムに関する設定,63

# え

エクスポート プログラムを Microsoft Excel ファイルに エクスポート, **76** 

## か

カスタマイズ PPM Dashboard ページのポートレット, 108 管理 スコープの変更,91 スコープ変更プロセス,98 ビジネス目標,19 プログラムのリスクプロセス,97 プログラムプロセス,96 プロジェクトのリスクプロセス,97 問題,78 問題プロセス,96 リスク,86

#### け

検索 スコープ変更,91 プログラム,40 プログラムの問題,79 プログラムリスク,88 プロジェクトの問題,81 プロジェクトリスク,86

## J

更新 プログラムの優先度,66 コストアクセス,63

# さ

削除 ビジネス目標,20 プログラム,50 プログラムから参照を削除,49 プログラムからビジネス目標を削除,49 プログラムからライフサイクルエンティ ティを削除,49

#### 作成

ビジネス目標,17 プログラム,16 プログラムの問題,22 プログラムリスク,29 プロジェクトのスコープ変更,34 プロジェクトの問題,25 プロジェクトリスク,32

#### 参照

URL, 75 タスク, 74 添付ファイル, 67 パッケージ, 68, 69 プログラムからの削除, 49 プログラムへの追加, 67 プロジェクト, 70 リクエスト, 72, 73

#### す

スコープの変更 アクティビティの分析,93 解決時間の分析,95 管理,91 検索,91 プログラムの設定,56 プロジェクト,22 プロジェクトに関する作成,34 プロジェクトに関する送信,34 プロセスの管理,98 ヘルスインジケータ,56

#### せ

設定 スコープ変更に関するプログラム設定, 56 プログラムアクセス,63 プログラム設定,50 プログラムのヘルスインジケータ,52 問題に関するプログラム設定,52 リスクに関するプログラム設定,54

### そ

送信 プログラムの問題,22 プログラムリスク,29 プロジェクトのスコープ変更,34 プロジェクトの問題,25 プロジェクトリスク,32 リクエスト,21

## た

タスク プログラムからの参照,74 ダッシュボード プログラムマネージャページの追加,101

#### っ

追加 ダッシュボードへのプログラムマネー ジャページの追加,101 プログラムに参照を追加,67

## τ

添付ファイル プログラムからの参照,**67** 

#### は

パッケージ プログラムからの参照, **68**, **69** 

## ひ

ビジネス目標 Program Management から作成, 17 概要, 17 管理, 19 削除, 20 プログラムからの削除, 49 変更, 19

### ふ

プログラム 設定の変更 58 Financial Management の設定, 50 Microsoft Excel  $\mathcal{D}_{\mathcal{T}}\mathcal{T}$ 76 Portfolio Management の設定, 51 URL 参照.75 アクセスの設定.63 概要,10 検索,40 削除.50 作成.16 参照の削除,49 参照の追加,67 設定,50 タスク参照,74 添付ファイル参照, 67 パッケージ参照, 68, 69 ビジネス目標の削除,49 プロジェクト参照,70 プロセスの管理.96

ヘルスインジケータの設定 52 ヘルスインジケータの変更,58 変更,44 問題、21、22 問題の管理、78 問題の検索.79 問題の作成,22 問題の送信,22 優先度の更新。66 ライフサイクルエンティティの削除,49 リクエスト参照, 72, 73 リクエストの送信.21 リスク,21,29 リスクの検索、88 リスクの作成,29 リスクの送信.29 リスクプロセスの管理.97 プログラムアクセス 63 プログラムコストサマリポートレット,107 プログラムコンテンツリストポートレット 103 プログラム設定 Financial Management, 50 Portfolio Management, 51 設定,50 変更.58 プログラムのスコープ変更リストポートレッ ト. **105** プログラムマネージャページ 99 ダッシュボードへの追加.101 プログラムリスクリストポートレット,106 プログラムリストポートレット, 102 プロジェクト スコープの変更, 22, 34 送信.25 プログラムからの参照,70 問題、21、25 問題の検索,81

問題の作成,25 リスク, 22, 32 リスクの検索、86 リスクの作成,32 リスクの送信,32 リスクプロセスの管理,97 プロジェクトのスコープ変更 作成,34 送信,34 プロセス プログラムに関する管理.96 分析 スコープ変更アクティビティ,93 スコープ変更解決時間.95 問題アクティビティ,83 問題解決時間,85 リスクアクティビティ,89 リスク解決時間,90

#### $\sim$

ヘルスインジケータ プログラムのスコープ変更,56 変更,58 問題,52 リスク,54 変更

ビジネス目標,**19** プログラム,**44** プログラム設定,58 プログラムのヘルスインジケータ,58

#### ほ

ポートレット カスタマイズ,108 プログラムコストサマリ,107 プログラムコンテンツリストポートレッ ト,103 プログラムのスコープ変更リスト,105 プログラムリスクリスト,106 プログラムリスト, 102 問題リスト, 104

# め

メニューバー Program Management, 12

# ŧ

問題 アクティビティの分析,83 解決時間の分析.85 管理.78 プログラム.21 プログラムでの検索,79 プログラムに関する作成,22 プログラムに関する送信,22 プログラムの設定,52 プロジェクト、21 プロジェクトでの検索,81 プロジェクトに関する作成,25 プロジェクトに関する送信.25 プロセスの管理.96 ヘルスインジケータ 52 問題リストポートレット,104

#### ゆ

優先度 プログラムに関する更新, 66

# 6

ライフサイクルエンティティ プログラムからの削除,49

# IJ

リクエスト プログラムからの参照, 72, 73 プログラムに送信, 21 プログラムの問題, 21

プログラムリスク,21 プロジェクトのスコープ変更,22 プロジェクトの問題,21 プロジェクトリスク,22 リスク アクティビティの分析,89 解決時間の分析,90 管理,86 プログラム、21 プログラムでの検索.88 プログラムに関する作成,29 プログラムに関する送信,29 プログラムの設定,54 プログラムのプロセスの管理,97 プロジェクト,22 プロジェクトでの検索,86 プロジェクトに関する作成,32 プロジェクトに関する送信,32 プロジェクトのプロセスの管理.97 ヘルスインジケータ.54